DE EX

銀河戦国群雄伝ライ 18

真鍋譲治

DE-5-18

発行 メディアワークス
発売 主婦の友社

9784073095200

1920979009301

ISBN4-07-309520-X

C0979 ¥930E

発行●メディアワークス 発売●主婦の友社 定価：本体930円 ※消費税が別に加算されます

DENGEKI COMICS EX

フォーチュン・クエスト①②
迎 夏生COMIC 深沢美潮STORY

エンジェルアーム①～⑦
衣谷 遊

央華封神①②
栗橋伸祐 原案友野 詳

電撃摩陀羅海賊本①
田島昭宇 原作
with MADARA PROJECT

MADARA赤LASA①～③
田島昭宇

MADARA壱①～④
田島昭宇

MADARA転生編
田島昭宇with MADARA PROJECT

MADARA外伝
死海のギルガメシュ
花津美子with MADARA PROJECT

幼稚園戦記まだら①～④
養見依久with MADARA PROJECT

摩陀羅RPG
MADARA PROJECT

MADARA影
高橋 明with MADARA PROJECT

聖痕のジョカ①～⑤
大塚英志原作 相川 有作画

銀河戦国群雄伝ライ①～⑱
真鍋譲治

緋翔伝幾千の月のかけら**①～⑥**
夢来鳥ねむ

魔狼王烈風伝①～⑦
沢田 翔

女神天国新女神誕生編
宮須弥

ネコた～ぼ16V①
そうま竜也

超神Z①
作・司徒劍儀
訳・MADARA PROJECT

Nocturne～夜想曲～①
栗橋伸祐

ガンドライバー①～④
ピトウ ゴウ原作
せたのりやす作画

リスティス①
うたたねひろゆき

最終機攻兵メタルスレイダー
グローリーエイミアの面影①
☆よしみる

極道くん漫遊記①②
桐嶋たける
中村うさぎ原案

JAJA姫武遊伝①
中村うさぎ原作 衣谷 遊作画

レジェンド・オブ・クリスタニア①～③
はじまりの冒険者たち
姫川 明with HIURI PRO
水野 良原案

テレビアニメ版
神秘の世界エルハザード①～⑤

魔獣水滸伝KIZNA①②
ピトウ ゴウ原作
夏野すいか作画

太陽の少女インカちゃん①②
小野敏洋

誕生～Debut
蘭宮 涼

メルクリウスプリティ①
西野 司

ドラゴンナイト4①②
冨樫

がんばれ!プリンセスちゃん
ひぐちきみこ

もっとがんばれ!プリンセスちゃん
ひぐちきみこ

鉄(くろがね)**コミュニケイション①**
たくま朋正

流星雀士キララ☆スター
高雄右京

月極はっぴぃあばーとめんと
思い当たる

ほにゃほにゃれでぃGOGO!
ぶるまほげろー

電撃ガオガイガー
竹田裕一郎、大森 葵ほか

仙木の果実
八房龍之助

RAI

BY JOJI MANABE

18

銀河戦国群雄伝

ライ

● ARTIST
JOJI MANABE

● EDITOR
JUN-ICHIRO SATOH
ANRI KOMATSU

● BOOK DESIGN
TETSUYA ASAKURA

● SPECIAL THANKS TO
MASAHIKO YAMASHITA
YOSHIKI MORISHITA
TOSHIMICHI OKITA
HIRONORI NAGAI

戦国の銀河を生き抜く群雄たち

【竜我雷】りゅうがらい

本編の主人公。その度胸と悪運の強さを狼刃に買われて一兵卒より師団長に抜擢され、五丈軍先鋒として南天に雪崩込む。南天軍の前線を突破するや、大暴れして要衝・座士都に一番乗りを果たし、その勇名は敵味方に響き渡る。その後も、数々の戦功により、昇進に昇進を重ね、徴羅のクーデター時には、南京楼の大守に収まっていた。初めて地盤を得た雷は、その地で希代の天才、師真を軍師として迎え、また、皇室の娘紫紋を妻に娶ると、すぐさま中央に反旗を翻し、挙兵する。圧倒的に不利な状況の中、死闘を展開、ついに金州海にて、恩師狼刃を涙をふるって倒した。その余勢を駆って、偽帝徴羅をも打ち倒し、全五丈を平らげる。その後、玄偉、西羌王ら反竜我派の反乱を鎮圧する中、五丈王に即位し、尊号を竜王と称する。西羌と和を結び、着々と国内体制を固める雷。それに対し、智の正宗と、それに呼応するかの如く北伐を決意した南天王羅候率いる南天軍が、ほぼ同時に大挙して五丈領土に侵入。国力が整わない五丈は最大の危機を迎える。雷は、軍師・師真の戦力集中による各個撃破の策を取り、まずは開彭沖にて正宗軍と激突、最後には単艦同士での一騎打ちにより、ついに宿敵正宗を倒した。雷は返す刀で南天軍先鋒を急襲、南天軍主力を六紋海におびき寄せるのに成功、ついに銀河に竜虎の名を轟かす両雄、雷と羅候の決戦の火蓋が切って落とされた。

【大覚屋師真】だいがくやしいん

南京楼の豪商大覚屋の放蕩息子。普段は酒色に溺れて甚だ評判が悪い。だが、その知謀たるや史書、経書から兵法、天文、医学に精通した天才的な戦略家である。並みいる諸侯からの度重なる招きをすべて固辞し、時を待つが、紫紋に横恋慕したことによる縁で雷に出会う。以来その才覚を余すことなく発揮、雷の覇業の最大の立て役者となる。六紋海の戦いでは、雄大な戦略を立て、敵軍師姜子昌との決戦に挑む。

【紫紋】しもん

敗将阿曹主禅の一人娘。皇室の血を引く唯一人の女性故に、辛い運命に弄ばれる悲劇の女である。父親を雷に殺された後、五丈に身柄を引き渡され、恩賞として仇でもある雷の許に預けられた。だが、雷とはそれを乗り越え、

深い愛情を寄せ合うことになる。正妻となってからは、戦場に赴く雷を陰日向に支えていく気丈な娘である。

【麗羅】れいら

雷の主君であった比紀弾正の娘。強大な権力の後ろ盾とその勝ち気な性格で、我がまま放題である。雷には初めて会った時から興味を持ち、雷との絡みでは紫紋とよく対立し、反乱の罪を被せて紫紋を殺そうとしたこともあった。弾正の死後、一時は国政を乗っ取るが、骸羅に国を追われ、またまた雷の許に転がり込む。

【雲海入道】うんかいにゅうどう

雷の兵卒時代からの戦友。かつては高僧にも仕える身分であったが、大酒飲みが仇で宗門を追われた破戒坊主。だが、雷にとっては最も頼りになる豪傑である。終始、雷とは戦場を共にし、また、雷の密命を帯び、暴政下の武王都より麗羅を救出、無事雷の許に送り届けた。六紋海の決戦においては一群を率いて奮戦し、雷を守る。

【孟閣】もうかく

冷静で勇猛な剛将で、南征以後、常に副官として、経験不足の雷を適切に補佐する。歴戦の強者であり、その豊富な戦歴に裏打ちされた知識と経験を基に、よく雷を助け、軍事部門の責任者として、その覇業に重きをなす。六紋海の戦いでは、息子の孟起と共に雷の身を案じ、奮戦する。

【三楽斎】さんらくさい

五丈の尚書令。師真に次ぐ、実質、五丈家臣団ナンバー2である。極めて有能な能吏派軍人であり、弁舌の才を持って雷を補佐し、外交、内政面においてその優れた才能を、遺憾無く発揮する。

【鐘士元】しょうしげん

五丈軍の勇将。雷の師団長以来の宿将で、その勇猛果敢さで、常に先鋒を受け持ったが、師真のような新参者とは反りが合わず、対立した。だが次第にその知謀を認め、その指揮下に入り活躍する。

【姚文】ようぶん

五丈軍の勇将。鐘士元らと共に雷の股肱の臣である。やはり師真とは合わなかったが、その命には良く服し、戦功を重ね、雷の覇業の一翼をなす。よく書

をし、武勇一辺倒ではない男でもある。

【項武】こうぶ

雷の旗揚げ時からの宿将であった項焉の息子で、八十斤はあろう大斧を片手で軽く振り回す豪傑である。その武勇を買われ常に先鋒を任される。六紋海では、星海に散った項焉の仇を討つべく奮戦する。

【林則嘉】りんそくか

五丈軍の謀臣。若い頃は風采も上がらず誰にも相手にされなかったが、南京楼城内に出入りしている間に師真に見出され、雷輔翼の人物として師真と双璧をなすようになる。天才肌の師真に対して、地味ながら、その誠実さをもって数々の献策をし、雷の覇業を助ける。特に金州海の戦いにおいて、焦る雷を勇気を持って諫めたことは、その後の雷の成長を考えると特筆に値する。

【如海】じょかい

東河の七賢人と呼ばれた処士の一人。田舎において晴耕雨読の生活を送っていたが、五丈を平定した雷により、三顧の礼を持って迎えられ、幕下に入る。

【孟起】もうき

孟閣の息子で五丈軍の第二世代を代表する青年武将。六紋海の戦いでは、遊軍を率いて八面六臂の活躍をする。

【装伯】そうはく

造船総監装民の甥。五丈軍の技術者の要の一人であり、装民の作った巨砲を自走砲艦として生まれ変わらせた。

【呂朱】りょしゅ

五丈軍の中堅武将。雷の挙兵に応じ、骸羅派の大守を殺して雷の許に馳せ参じた功により、驃威将軍に進んだ。

【鐘才】しょうさい

郡役所の下級官吏から鎮南将軍にまで登り詰めた苦労人。六紋海の戦いでは、後方遮断の任を任される。

【羅候】らこう

南天王。父羅鶴の死後、兵権を引き継ぐ。当初は南天の大国、智に従属していたが、徐々にその勢力を広げ、南蛮国王女、昌峻を娶り、その地盤を強固なものにする。正宗の北伐時には、隙を突き南帝閣を占拠、虎丸を智王に立て、正宗を失脚させる。南蛮王の死去後、その王位も継ぎ、練・南蛮二国の盟主となり、南天に揺るぎない地位を築く。その後、正宗

が復権すると見るや、素早く智領土の併合を謀り、正宗と智王を遥か領土外に追いやる。天下統一の最後の障害である五丈に矛先を向け、空前の大軍団で五丈領土に雪崩込む。

【姜子昌】きょうししょう

練国きっての名将。羅候の身辺にあり、いわゆる竹馬の友である。若くして、練軍の大都督に任じられ、羅候を補佐し、練国の発展に尽力する。正宗による銀河統一を阻止するべく画策、幼王虎丸を立てて正宗を失脚に追い込む。だが、誰よりも正宗の恐ろしさを知っており、その警戒を怠らなかった。この度の北伐では、羅候より総大将に任じられ、師真と対決する。

【蹄虎】ていほう

練の若き武将。知勇に秀で、姜子昌の右腕として、羅候を助け奮闘する。戦功だけでなく、南蛮や正宗の許に使者として遣わされ、首尾良く務めを果たすところなどは、彼の非凡な才能を示している。

【夏候獣】かこうじゅう

南蛮王、琥瑛罵洲に仕えていた名将。老齢ながら任侠気溢れる豪傑。琥瑛罵洲の死去後、練国国王であった羅候への南蛮王位禅譲を支援し奔走した。南天軍の重鎮であり、多くの将官に敬われている。

【龍緒】りゅうしょ

夏候獣と共に、琥瑛罵洲、羅候の二君に仕えた老臣。実質的には練の宰相職にあり、法令、兵法、いずれにも造詣が深く、北伐にも帯同はしているものの、数多い将官の中にあっては、慎重派である。

【己峻】ゆうしゅん

南蛮王琥瑛罵洲の一人娘。羅候とは許婚の仲である。南蛮王国との連携を強めるために、羅候の許に輿入れ、百人もの女兵士を従えるなど相当なじゃじゃ馬ではあるが、意外にも花嫁修行には熱心だった。とにかく羅候が好きで好きでたまらないという感じで、それ故に城内を餃子だらけにしてしまうなどいろんな騒動も起こす。羅候の本格的な北伐にも同行し、身重の身体でありながら、大鉈を振り回しての大奮闘である。

【神楽】かぐら

南天国の女武将。白象戦車隊を駆り、八十斤の鎖鉄槌を振り回す猛者である。勝ち気な性

格故、姜子昌と対立するが、彼にはほのかな恋心を抱く。初陣で項武軍を粉砕するが、師真の策に敗れる。

【玄偉】げんい

弾正時代の五丈四天王の一人で凄腕の謀臣。弾丈には重く用いられる。骸羅の反乱の際、影武者を使い、その難を避ける。雷の偽帝討伐には陰で暗躍、腹心の華玉と共に西羌王を抱き込み、新政権誕生後も一定の勢力を維持し、雷と対立する。幻術を操り、その後も五丈に付きまとうが、雷の地盤が固まり、南天との二大勢力の対決となるや、その力と影響力を急激に失い、焦燥の念に駆られている。

【華玉】かぎょく

玄偉の腹心。李張道師の高弟で、その秘められた力で玄偉の暗躍を助ける。偽帝討伐時には師真と功を争うが、寸でのところで破れる。その後も刺客の梨扇を雷の身辺に配するなど、雷の天下取りに楔を打ち込もうとするが、師真らに阻まれる。

【梨扇】りせん

華玉の部下の女間者。雷の南京楼赴任中、奥女中として潜入。紫紋付きの女官となり、雷暗殺の機会を窺う。

【李張】りちょう

弾正の元軍師。その弟子には華玉、骸延など知謀の士が多い。銀河の覇者の出現を予見している。

【蘭々】らんらん

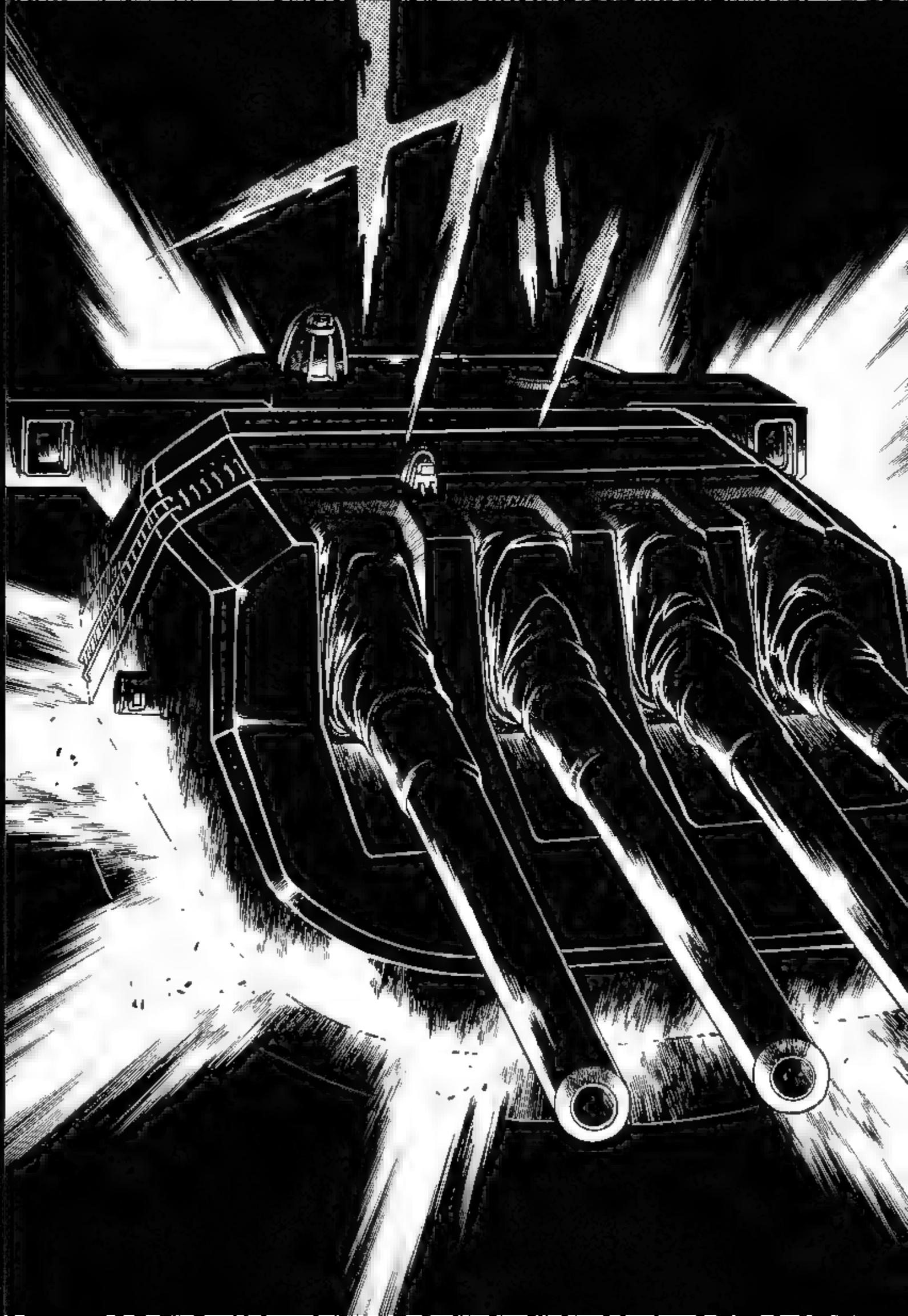
華玉の妹。共に李張に学ぶ。道士としてその能力は未知数だが、幼い割にはしっかりして、紫紋のよき友である。

【秦宮括】しんていかつ

西羌王秦馬の息子。秦馬の復仇戦で、項武と激戦を繰り広げる。その後、雷に心服し、五丈とは講和を結ぶ。

【太助】たすけ

雷と同郷で幼い頃から雷を兄と慕う。身軽さを生かした活躍が光り、帝虎級戦艦爆破という危険な任務を自ら買って出て、自爆によって壮絶に散った。



どわあっ!!
太助の
命を懸けた
点火により
火徳星の旗艦
将虎の艦内は
地獄絵図と
化した
満載していた
弾薬は
次々と誘爆を
起こし
すさまじい
火炎の流れは
あたかも
巨大な怪物の
内臓を焼き
尽くすかのように
暴れ狂い

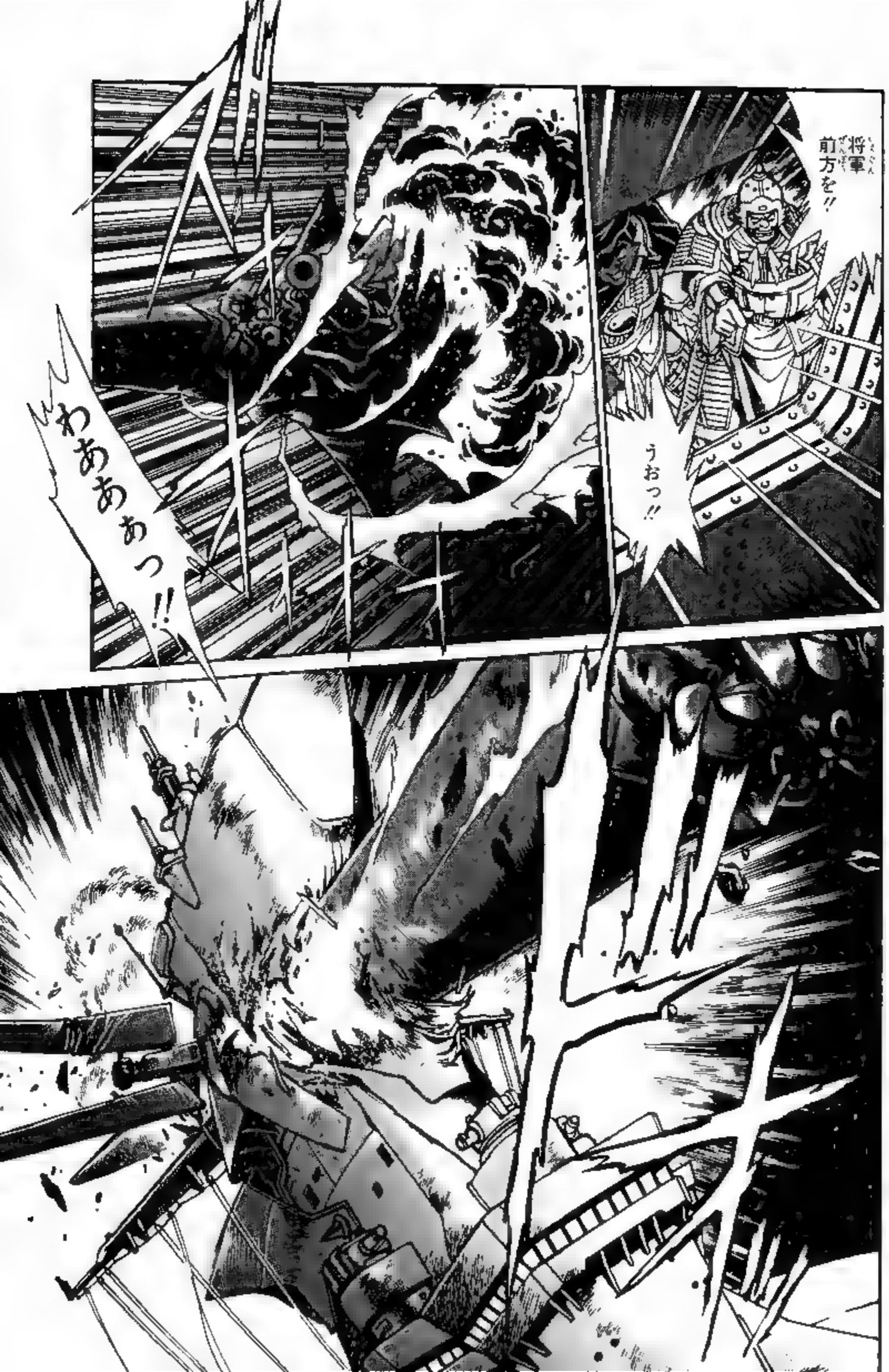
将虎はなすすべもなく
断末魔の叫びを
あげながら
巨体を震わせた

ズゴゴゴ
なんだこれはっ!!
何事だ!?
ひいっ!!
だ……弾薬庫で爆発が……!!
誘爆しています!!
う……
うおおっ!
ぎゃあぁ!!

将虎が

帝虎級戦艦は
その巨体と重武装故に
搭載している弾薬の
量も莫大な
ものであった
か……
回避しろ！
巻き込まれるぞ!!
だ…だめです
避けきれ
ません!!
うわあああっ!!

その爆発の
巨大な火球は
次々と周りの
艦を呑み込んでいく
ひぎゃあああ!!


将軍
前方を!!
うおっ!!
わあぁっ!!

こうして南天の誇る帝虎級戦艦が六隻全て海の藻屑と消えたのであった
わはは やったぞ!!
奇跡だ!!
雲海!!
あ――太助達の仕業だなこりゃ!!
よーし!! 血路が開けた!
全軍大至急戦域から離脱しろ!!

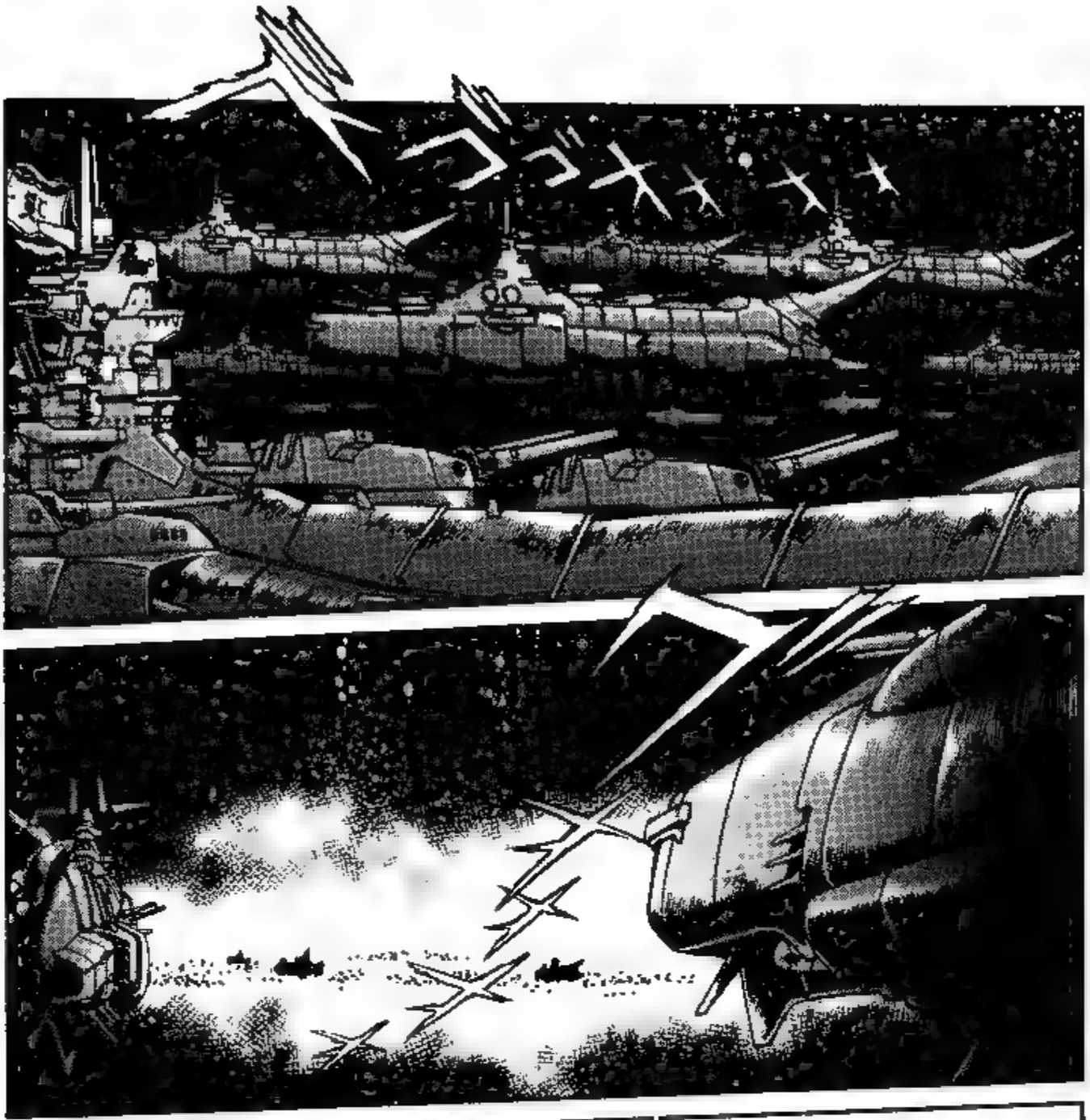
感謝するぜ 太…
……
まさかな…
あの 太助がな…

バカな…!!
こりゃ
どういう
ことだ!!
五丈軍を
袋の鼠にしたと
思ったのに……
その袋を閉じる
連中が一斉に
吹き飛んじまう
なんてよ!!
おのれ
どこまでも悪運が
強い野郎だな
雷!!
かまわねえ
追って追って
追いまくれ!!
敵は尻尾を巻いて
逃げ出したぞ!
息の根を止めろ
――っ!!
ドドド

……
やられた……
破壊工作とは……
師真のやつ
今頃どこかで
高笑いだろう……！
姜子昌様！
殿は全軍を率いて
五丈軍を追って
おられます！
問題の
干上がった
大江に差し
掛かりますが
もし
五丈軍が
姜子昌様の
申す通り
河を堰き止めて
いるのなら
渡河は危険です！
たしかに…
だが
渡らずにして
我が軍の
勝利も
あり得ない
危険は
承知の上だ！
俺はこの巨大戦艦の
底力を信じる!!
師真の策を
ことごとく
力でねじ伏せてきた
姜子昌の決断で
あった

一方
問題の大江は
孟起配下の
軍勢により
岩や沈船にて
完全に堰き止め
られていた

六紋海は
多くの太陽や
星々の重力の関係で
巨大な宇宙気流が
発生する
それが一つの大江として
この海域を縦断していた
今やその大江は
流れを断たれ
堰からあふれ
出さんばかりに
なっていた


ゴゴゴゴゴゴ

軍師様
友軍は
全て河を
渡りました
続いて
南天軍
第一陣が
渡河を始めます！
よし！
連中の半数が
渡りきったら
堰を切れ！

ゴゴゴゴ
ゴゴゴゴ
五隻を
一列に並べよ！
我々が
堤となって
河の流れから
友軍を
守るのだ！
殿！
さあ
追撃を!!
見事だ
姜子昌！
後は
俺に任せろ！

前進だ!!
五丈の連中を逃がすなーっ!!
南天軍は五隻の帝虎級戦艦が造る堤に守られ渡河を始めた
ふふ師真よこの巨大戦艦を押し流せるものなら押し流してみろ!

敵は渡河を始めました！
まもなく軍勢中段に達します!!
つらい戦いであったがいよいよ巻き返す時がきた!!
今だ合図を送れ!!
堰を切るのだ!!
むっ！
軍師様からの合図だ！
よし！始めぇ!!

ドコドコドコドコ
ドコドコドコドコ
ドコドコドコドコ

戒めを
解かれた大江は
凄まじい勢いで
堰を乗りこえて
流れ降った
その大激流の先を
一つの星が
横切ろうとしていた

「水の星」である
師真の待っていた
「時」とは
この一瞬であった…!!

激流のもたらす
強烈な圧力を
まともに受けた
水の星では
その全表面を
覆う海水が
嵐の如く荒れ狂った

逃げ場を失った
海水は
巨大な水柱となり
天に立ち上がった

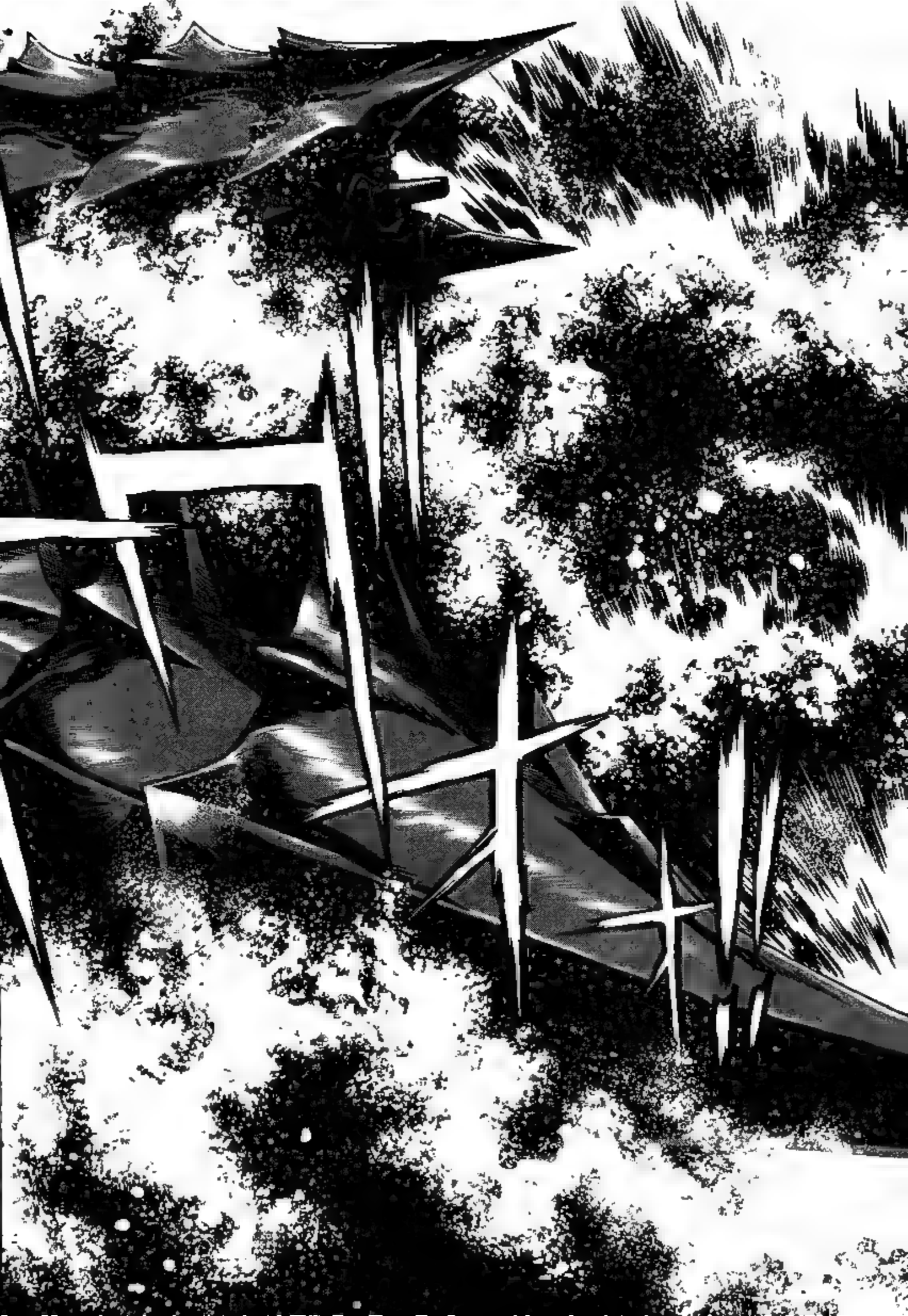
そして巻き上げられた海水は大江の流れに押し流され
怒涛の如く六紋海を流れ降った!!

いつもなら
六紋海に雨を
降らす程度の
水の星と大江との
交差は今日だけは
メガトン級の津波を
産み出したのである

一方
堰から流れ出た
激流の第一波が
渡河中の南天軍
を襲った
ゴゴゴゴゴゴ
しかし
七百万総トンに
達する帝虎級戦艦は
びくともせず
その巨体をもって
激流を遮った
……
オオ…
姜子昌様
まもなく
中軍の渡河が
終了しま……
!!
な…なんだ
この震動は

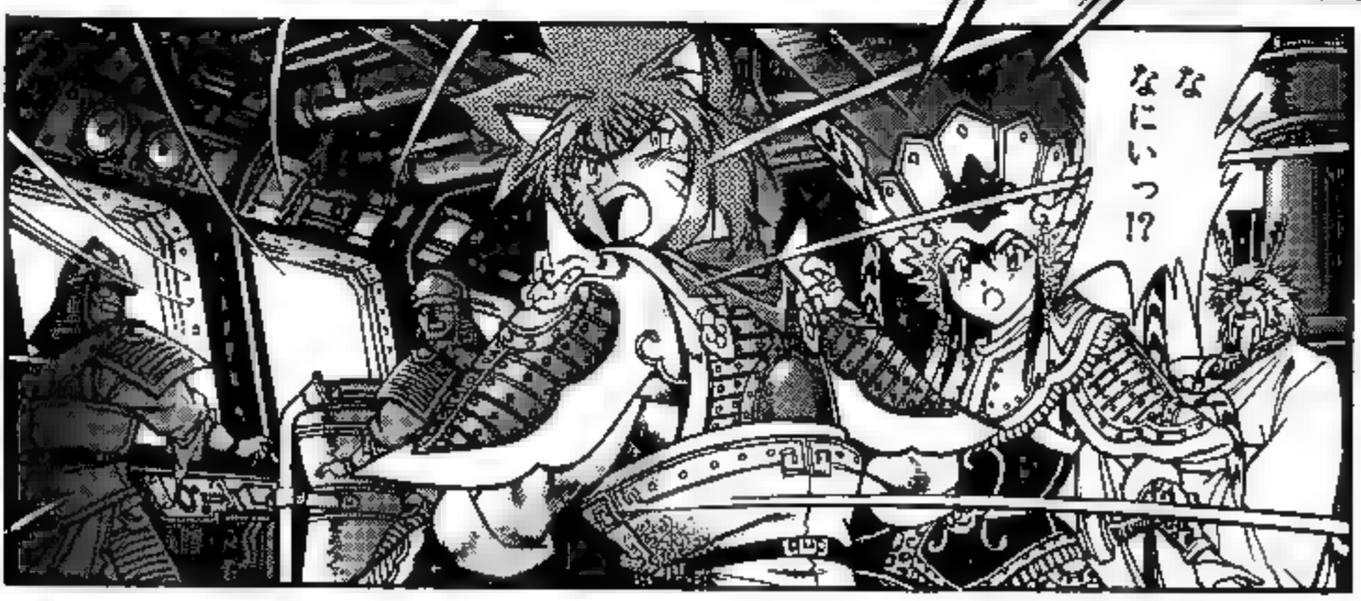
み…水だ!!
すごい量の水がくる!!
!!

ばかな…!!

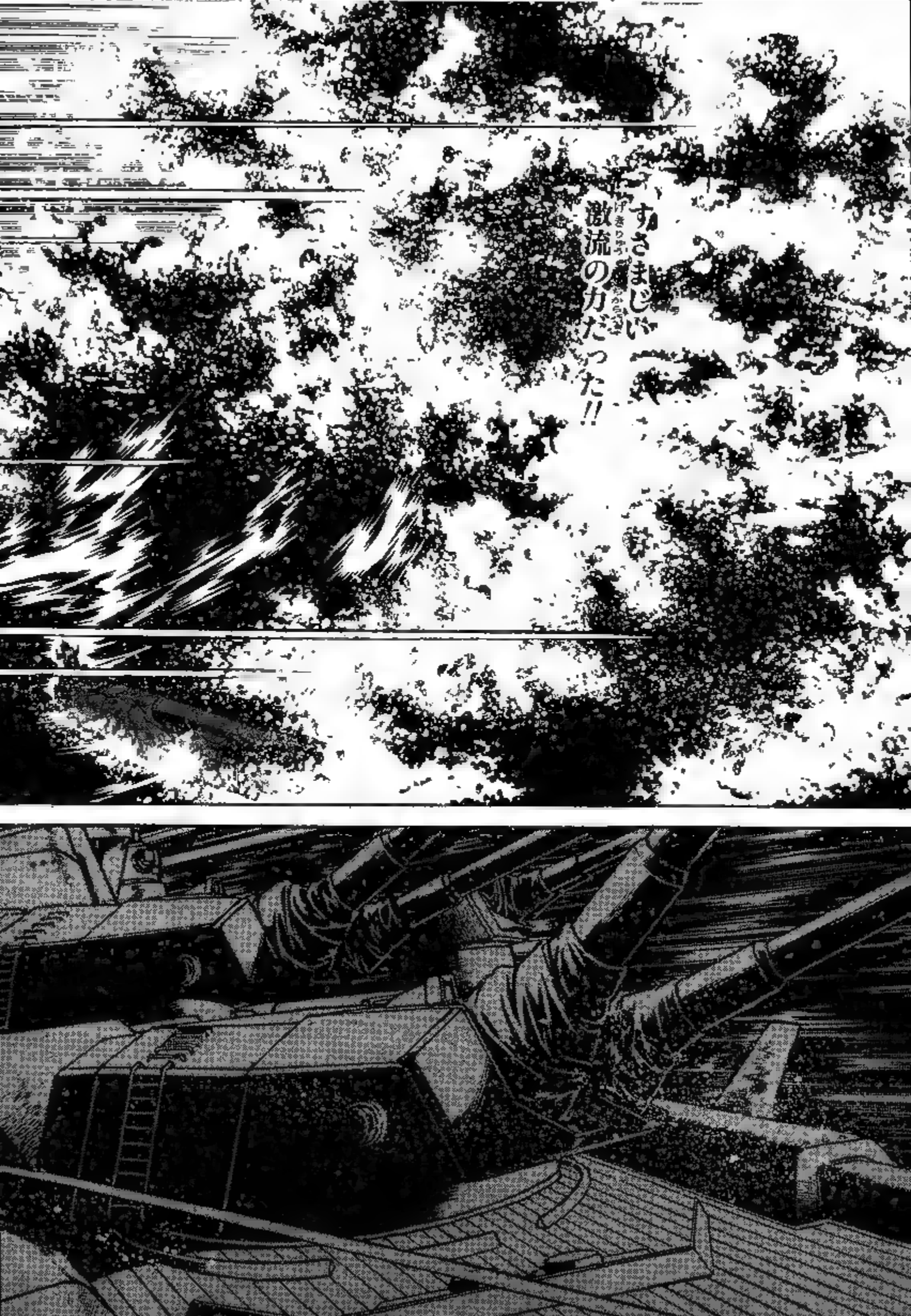


うわぁ
ドドドドド
ドドドドド
脱出だ！
機関出力一杯!!
このままでは
転覆するぞーっ!!

堤となった帝虎級戦艦を巻き込んだ!!
激流は渡河中の南天軍中軍に迫った!!
!
お…おいっありゃなんだ!!
水だ!
水がくるぞ!


な
なにいっ!?

ひいいっ!!
うわあっ!!
助けてくれーっ!!
急げ! 船が沈むぞーっ!!


すさまじい
激流(げきりゅう)の力だった!!

南天軍は
船も人も
何もかも
その濁流の中に
飲み込まれてしまったのだ!!

ちくしょうっ!!
こんなバカな…
こんなバカなことが
あってたまるかーっ!!
待候(まうら)ーっ

それにしても
南天軍を
水攻めとは…
すごいことを
考えますね
軍師様は！
ああ
まったくだ！
大したやつだぜ
あいつは…！
ようし！
反転だ!!
最初の砲撃戦の
借りを
百万倍にして
返してやれ!!
おおーっ!!

ゴゴゴゴゴ
全砲門開けーっ!!
砲撃開始!!

まず
五丈軍は
渡河してきた
南天軍
前衛に砲撃を
集中
大軍を擁していた
とはいえ
後方を遮断され
浮き足だった
前衛軍は
いとも
たやすく
撃破され
四方に逃げ散った

何とかしろ!!
このまま溺れ死にたいのか!!
し…しかし船体各所に亀裂が…
浸水がひどく出力が上がりません!!
殿!五丈車が反転してきます!!
なにいっ!!
おおっ!!

雷！
ささまーっ!!
羅候の
息の根を
止めろ!!
てぇーっ!!

うわっ

ひいいっ!!
ぬやあああっ!!

宙の号令一箭
五丈軍は積年の恨みを晴らすかの如く砲撃のつるべ撃ちを南天軍に浴びせた
波間でもがく南天軍の戦艦は激しい動揺のため反撃もままならない間に撃破されていく
どてっ腹を狙え!!
穴をぶち開けて沈めてやるんだ!!
わあああああ

六紋海は
南天軍艦隊の
墓場と化したのである…!!

だ…だめです
浸水を防げません!
艦が沈みます!!
姜子昌は!?
姜子昌は
どうした!!
前衛の帝虎級
戦艦は
全て水没しました!
姜将軍とも
連絡が
取れません!!
なにいっ!?
きょ…
姜子昌が…!!
うわあっ!!

ああっ!!
貴候ーっ!!
邑峻!!
邑峻!!
いやーん
貴候ーっ!!

きゃあああっ!!
邑岐!!
バカヤロー
離せ!
邑岐が!
いけません!
殿!
ご自重なされ!!
離せーっ!!
うわっ!!

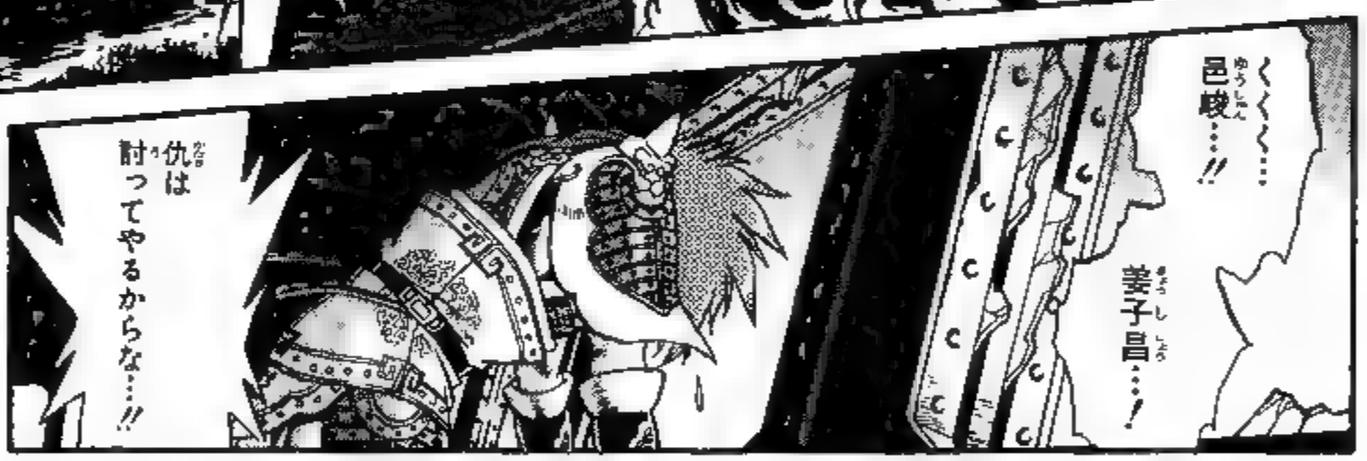
竜王様！
帝虎が…
闘気の波動が
沈みます!!
"
ふ…
この程度で
くたばるような
奴しゃ
ねえよ
ええ？
羅候…！
死なん！
俺は絶対に
死なんぞ!!
水がなんだ！
河がなんだ！
そんなもので
俺を殺せるか!!
帝虎の
底力を
見せてやれ!!

おおっ〃

帝虎はまだ生きてるぞ〃
ぬうしぶとい奴〃

左舷船体が落下しました!!
くそうっ!!
懸命の思いで師真の水攻めから脱した羅候だが…
その眼下に見たものは見るも無残な南天軍の姿であった

ちくしょうーっ!!


くくく…
邑峻…!!
姜子昌…!
仇は
討ってやるからな…!!

残軍を
集めろ!!
態勢を
立て直して
五丈を迎え
撃つのだ!!
殿!
後方より
火の手が
上がりました!!
なんだとおっ!?

殿！
後方の補給路が
攻撃されたようですぞ！
しゃらくせえ
真似を!!
こうなりゃ
正面の敵を
討ち破るまでだ!!
それは
なりませぬ
殿!!
軍団を失い
補給路を
絶たれた今は
速やかに兵を
退くべきです！
なにいっ!!
龍緒！
てめえ 俺が今
仇を討つって
言ったのが
聞こえなかったのか!!
兵を退くだと
つまらんことを
いうなーっ!!
この龍緒とて
殿のお気持ちは
充分わかって
おりまする！
しかし今は
目先のことより
我が南天王国の
行く末を
お考えください！
仇討ちが
目先だと
いうのか!!

うおっ!!
それっ!
もう一度
帝虎を
河にたたき
墜とせ!!
すでに
兵達も
補給路を
絶たれたと
気付いて
おりましょう
もはや
戦意も
無く
戦いにも
なりません!!
いうなーっ!!

!!
殿！
お助けに
参りましたぞ!!
夏侯獣か!!

それがしが敵を防ぎます！殿はこの場をお逃げくだされ!!
よく来てくれた老将軍！さあ俺に続け！反撃だ!!
なりませぬ!!!
んひっ！
それがしが参ったのはこの老人の命と引き替えに殿のお命を守るため!!
それがしの思いを裏切られては死んでも死にきれませぬ!!
南天王国をお願いいたします！
ではさらば!!!

おいっ
夏侯獣！
夏侯獣ーっ!!
殿！
夏侯獣殿の
思い…
無駄にしては
なりませんぞ！
殿
!!
あ…
ああ…

おはっ!!
大将軍!
姜子昌様!!
しっかりして
ください!!
ご安心を
この神楽
必ず大将軍を
お守りします!
ですから
がんばって
ください!

そこの敵将！
おとなしく
降れ!!
ちっ！
おっ
あいつは
隼使いの
女！
男の方も
かなりの
上将と
見たぞ!!
こりゃ
めっけもんだ！
もはや
逃げ道は
ないぞ！
とっとと
降れ！
命までは
取りはせん!!
ぬかせ!!
おおっ！
うおおっ!!

大将軍
こちらに〃
姜子昌様には
指一本
触れさせないよ〃

よっ！
師真！
軍師様！ご無事で!!
これは竜王自らのお出迎え痛み入ります
ふふん♪
いやさすがの大覚屋師真もいろいろ難儀してたようだな
！
な…なんだよ？

いや
身だしなみに
うるさい
おまえにしちゃあ
陣羽織は
埃まみれの
しわだらけ
髪を
とき直す暇も
なかった
ようだしな
そ…
そうかあ？
いや
とにかく
大勝利ですぜ！
やつら見事に
軍師の策に
はまりましたな！
ごらんください
南天軍は
ほとんどが
水没しました！

だが
まだ
羅候は
生きている…
はっ
夏候猷の
軍勢が
立ちはだかって
おります
竜王様
兵を動かして
かまいま
せぬか？
まあ
まかせる
存分に
やってくれ！
皆の者!!
これより
追撃戦を
開始する！
今再び
気を引き締めよ!!
は!!
各軍団長に
伝達!!
追撃戦は
長くて三日…
南天軍を五丈から
追い出すまで
昼夜兼行で
おこなう！
各自
乾飯の
携帯を
忘れるな!!

副参軍、しっかりなさいませ!!
大将軍は…
雷子兵様はいかがした!!
わ…わかりません 双虎は転落 沈没しました
船は防御兵砲りをしていて無防備です、この場から早く逃げましょう!!
バカを言うな!!
大将軍は南天の柱石だぞ!!
何がなんでもお助けするのだ!!
船を廻せ!! 双虎の沈没地点までもとすのだ!!
報告!! あそこで味方の将が激しく闘っております!!
双頭龍を!!

神楽殿だ!!
大将軍…
巻子局様も
おられる!!

急げ!!
大将軍を
お助けするのだ!!
はっ!!
神楽どのーっ!!
!

蹄庖殿！
大将軍は…!?
大将軍は
ご無事か!!
気を失うてる
だけで
ございます！すぐにも
手当てを!!
船を漕けろ！
大将軍を
収容する!!
蹄庖様！
新手です!!
南天兵よ
早々に降れ!!
抵抗すれば
容赦せんぞ!!
ここは
それがしに
おまかせを!!
早く
姜子昌様を
お連れ
くだされ!!

ぬん!!
うわっ!!
ぬおうっ!!
おおっ!!

どおりゃあっ!!
くわっ!!
はうっ!!
神楽殿(かぐらでん)!!
早(はや)く!!
あたしにかまわないで!
早く
行けーっ!!

待て
待ていっ!!
それは
夏候猷に
撃ち破られ
大損害を
被ったため
敗残処理に
回されていた
項武だった
へっ
ゴミ掃除を
やらされて
くさってたとこに
いいウサ晴らしが
落ちていたな
そりゃあっ!!
ああああっ!!
うっ!!
逃がさねえぞ!!
しょ…
将軍!!

神社

へっへっへっ
ちょろいもんだぜ〃
項武様！
やったのですか!?
いや
水飲んで
失神してるだけだ
たわいもねえ
多くの
部下を殺した
憎い野郎だが
気失った
女を殺しても
目覚めが悪い！
将軍！
なんだ！
我々も
女将を捕まえました！
おっ
そいつは…〃

間違いねえ
あの時
この象野郎を
助けに
来た小娘だ！

こりゃ
竜王様への
おもしれえ
献上品にならあ

引き上げるぞ！

一方
羅候は敗残軍を
率いて六紋海の
出口である
六つの海峡に
向かっていた

羅候としては
制海権を失った
六紋海より
とにかく脱出して
態勢を立て直す
ことが唯一の
生き残る道であった

殿！
六紋海の出口
第一の海峡です！

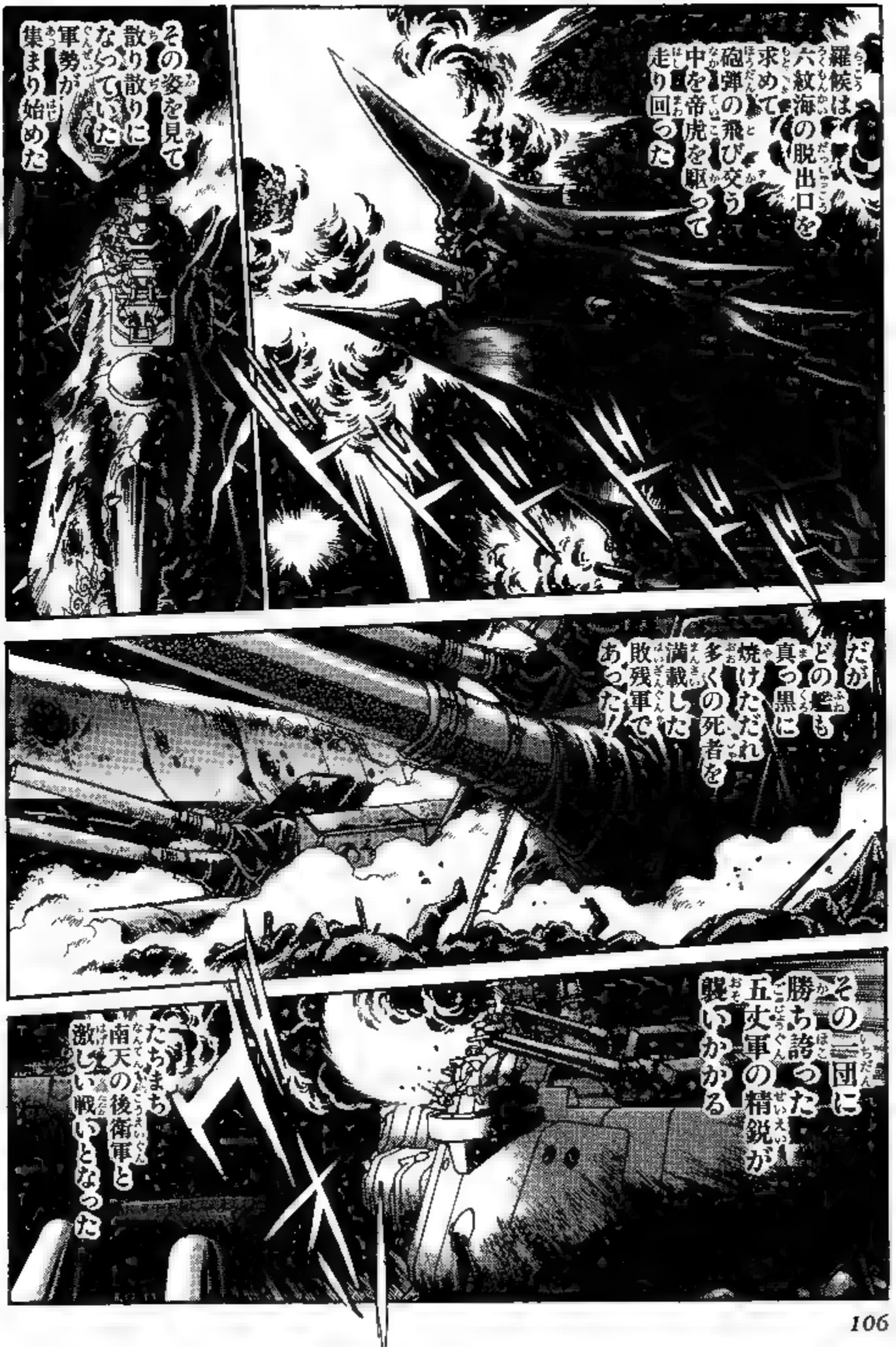
おう！

ふん
五丈のバカ共が
出口を塞ぐまでは
思いつかなかったか
兵力的にも
余裕はなかった
でしょう
さあっ！
一気に外海に
でるぞ!!
反撃は
それからだ!!

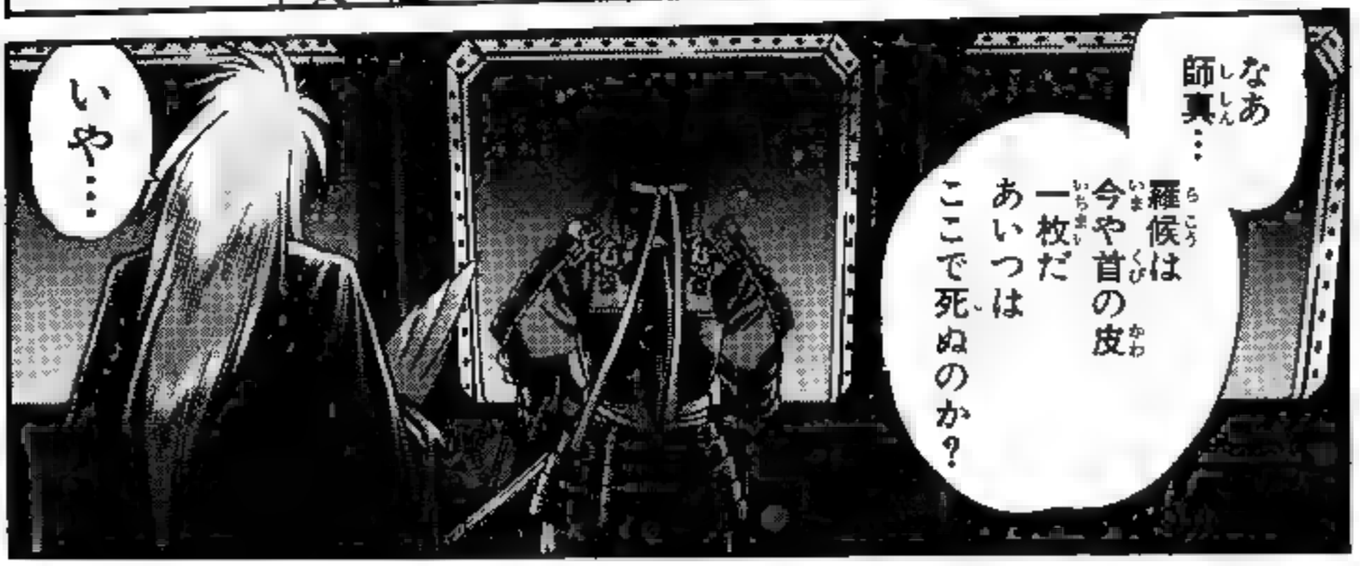
うわあーっ!!

な…なんだ
あれは…!!
てーっ!!
周りの雑魚には
かまうな!
帝虎だけを
狙え!!
殿!
ここを突破する
のは無理で
ございます!
転進を!!
くそうっ!!
帝虎を
殿を
お守りするのだ!!
あの
長っ鼻を
叩けーっ!!

殿！
味方が
防いでいる間に
早く〃
俺を…
俺を
守るために
皆
死んで行くのか…
皆も
夏候獣殿も
思いは同じで
ございます…
それが
臣下の務め
どうか
お気になさら
ないよう…
……


羅候は
六紋海の脱出口を
求めて
砲弾の飛び交う
中を帝虎を駆って
走り回った
その姿を見て
散り散りに
なっていた
軍勢が
集まり始めた
だが
どの船も
真っ黒に
焼けただれ
多くの死者を
満載した
敗残軍で
あった!
その一団に
勝ち誇った
五丈軍の精鋭が
襲いかかる
たちまち
南天の後衛軍と
激しい戦いとなった

孟閑将軍
敵左翼を
撃滅しました!
鐘士元将軍
敵一個軍団を
包囲!
姚文将軍
敵将他
三千の首級を
あげました!!


なあ
師真…
羅候は
今や首の皮
一枚だ
あいつは
ここで死ぬのか?
いや…

天文を
見る限り
羅候の隆盛は
衰えはするものの
命数はまだ
続くな
もちろん
人の盛衰興亡は
星の動きでは
なく人事で
決まる
やつの部下達が
人智を尽くし
忠を貫くならば
羅候健在で
ある限り
強大な南天は
息を吹き返す
だろう
そうか…
ならまた戦うことになるな…
……
うれしいか？
バカ言え！

あいつとは
殺すか
殺されるかだ…！
勝者のみが
天命を受け
天下人に
なれる…!!
くそうっ!!
なんとしても
突破して
外海に
出るんだ!!
だが
出口に当たる
六つの海峡のうち
一つは大江が
流れ
つは
装伯の大砲が
睨みを効かし

残る二つのうち
一つは
林則徐と
如晦
そして
敵補給路を
攪乱した
呂朱の鐘才の
軍勢が
寸分のすき間なく
封鎖していた
そして
残る最後の
海峡は…

う…っ!!
な…なんだ
これは!?

機雷原だ!!
びっしり
機雷で
埋まっているぞ!!

これでは逃れません 全て道を塞がれましたか…!
おのれ〜〜〜!!
殿! 後方より敵軍が迫ってきます!!
前には機雷原 後からは追手…
帝虎以下味方は数百… そのほとんどが戦闘能力を失っています…
……
無念です…!
いや… 死んでいった将兵のためにも 俺は生きのびなくてはならん…!!
後世どう言われようともだ!!

他の連中に
機雷を
踏みつぶさせろ〃
血路を
開くのだ〃
げえっ
しかしそれでは
味方は
全滅しますぞ〃
うるさい〃
ぐずぐず
言うな〃
道が無ければ
道を開くのも
戦のうちだ〃
命令に背く
やつらには
かまわん
砲撃しろ!!

む…
無理です
殿！
こんな死に方
つろうございます！
せめて一戦
交えて…
ぎゃっ!!

今さら
泣きごと
言うな!!
死ぬか
生きるかだぞ!
外海に出ない限り
生き残れねえんだ!
つべこべ
ぬかすのは
生き残ってからにしろ!!
は…
ははっ!!
進め!
進むんだ!!

殿(との)！
ごらんください
機雷原(きらいげん)は
もう終(お)わりです!!
おおっ!!
外海(がいかい)だ!!

だが
振り返った
羅候の見たものは
惨々たる有様の
南天軍団で
あった…

基幹戦力
十八個軍団…
二千万とも
三千万とも
称された大軍団の
大半が六紋海で
水没もしくは
砲火の中に沈んだ

外界への脱出に
成功したのは
羅候の供廻り
百隻余りで
あった

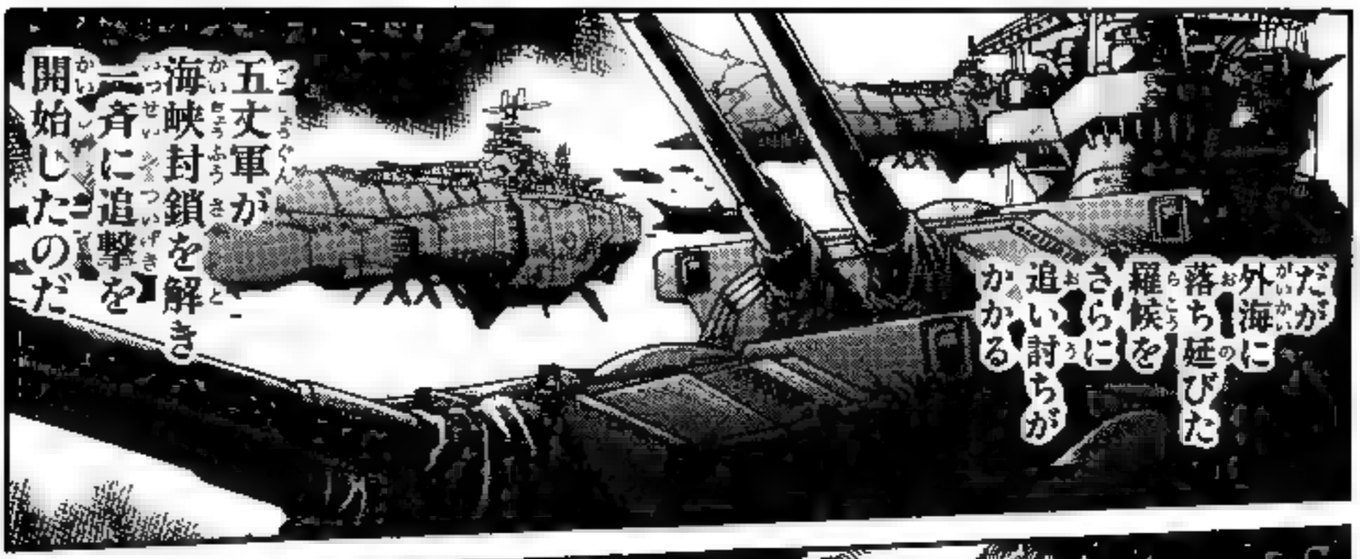
愛妻邑峻・
右腕である
姜子昌
共に行方不明…

勇将・智将
精兵
そのほとんどを
南天は
失ったのである

俺の…

あれほど威容を
誇った俺の
大軍団が
この様とは…

この恨み
必ず晴らして
やる…!!


だが外海に落ち延びた羅候をさらに追い討ちがかかる
五丈軍が海峡封鎖を解き一斉に追撃を開始したのだ

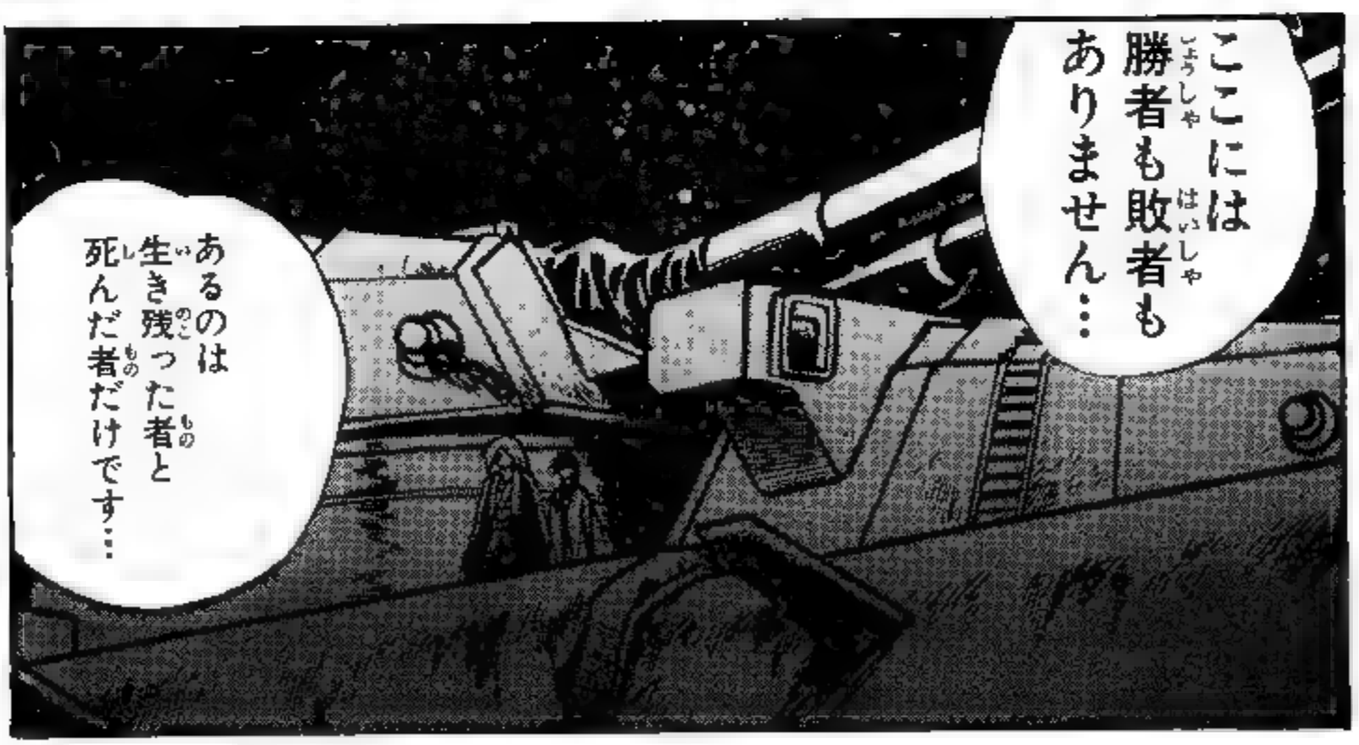
満身創痍の帝虎は次々と撃ち減らされる幕下の将兵と共にひたすら南へ…
南天へ遁走した

二日二晩の追撃の末五丈軍が燃料・弾薬の欠乏により
その船足を緩めた時にはほとんどただ帝虎一隻のみとなって
国境を越えたのである

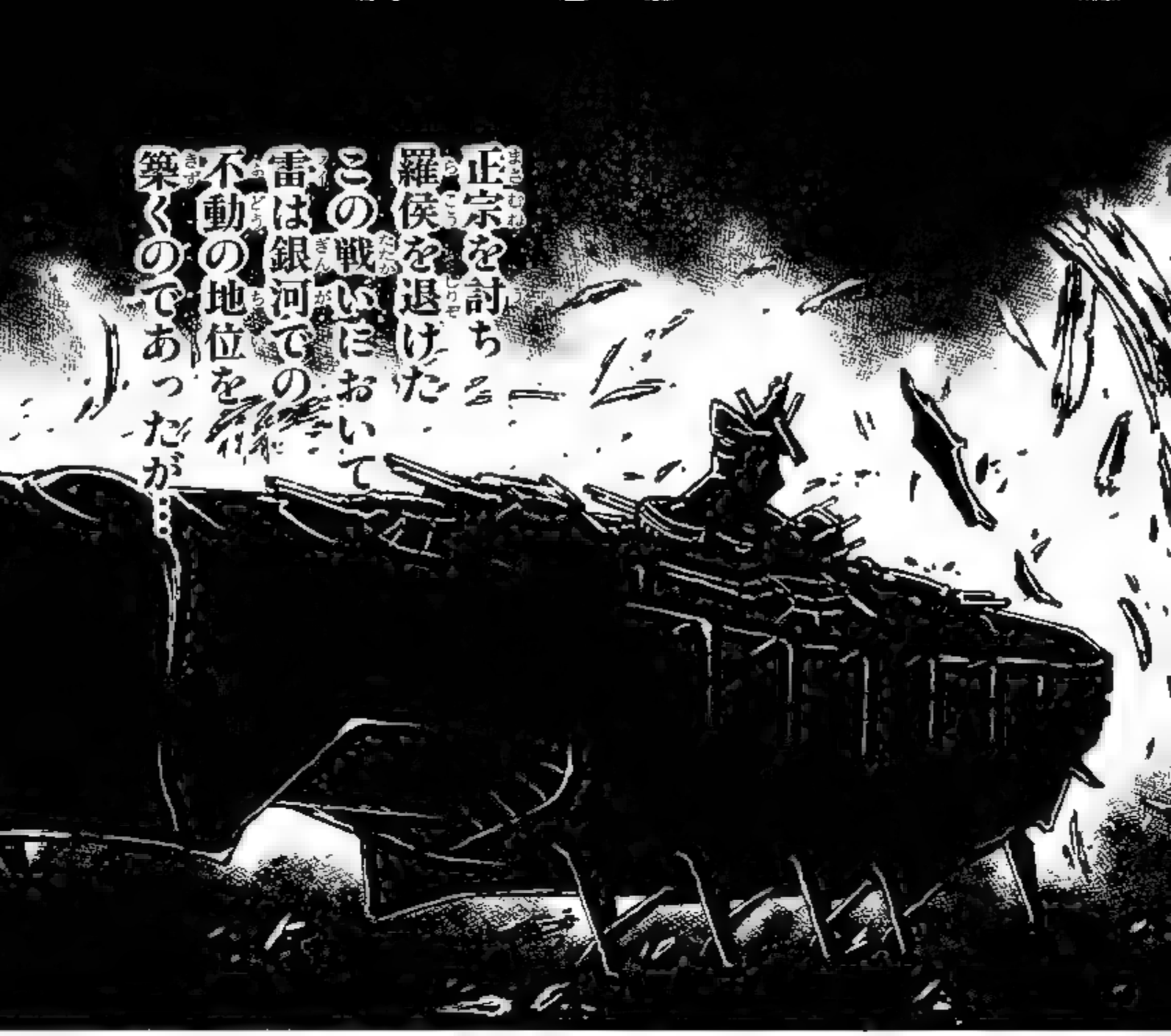
なんけいろう
南京楼
ハア
ハア
ハア
ハア
父上(ちちうえ)ーっ!!

父上!!
若旦那様…
みなさんも喜んでください!
五丈軍が南天軍を討ち破ったそうです!!
戦は終わりました!!
父上?
ち…父上…
……
お身体が弱っておりましたし心労が重なったのでしょう…
父上…!
旦那様…
ううう

六紋海での
決戦は
五丈の圧倒的
勝利に終わった


ここには
勝者も敗者も
ありません…
あるのは
生き残った者と
死んだ者だけです…

正宗を討ち
羅侯を退けた
この戦いにおいて
雷は銀河での
不動の地位を
築くのであったが…

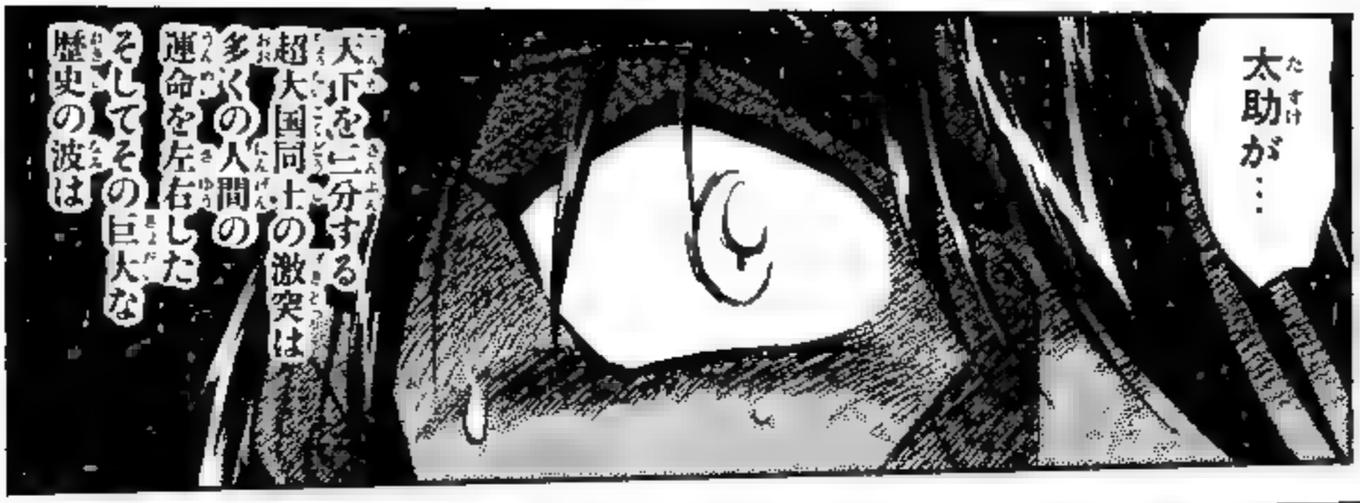


時代の流れと
いうものは
いつもその時代に
生きる人間の
血が混じっている
……
血でしか
時代が切り
開けないんでしょうか…

何も考えるな林！
竜王の目指す覇業の先に見えるもの…
それだけを俺達は信じていればいい…！
はい…
覇業の先に見えるもの…

ライ…
雲海！
はは
お前は
元気だな
見ろよ
みんな
ぶっ倒れ
ちまった

雲海？
ど…
どうした？
何で
黙りこくってるんだ？
太助がな…
もどってきて
おらん…！



生き残った
者達にも
新たに過酷な
試練という形で
覆い被さる
のである

雷と羅候が
銀河の覇権を
懸けて
六紋海で激突
している頃

留守を務める
尚書令
二楽斎

雷の
信頼厚い彼は
竜王代理として
軍団指揮以外の
全ての大権を
預かっている

その信頼に
二楽斎は
完璧に応えた

五丈国内を
がっしり固め
最前線の雷を
確実に
支え続けたのだった

ここ
五丈の首都
斉王郷では
一見 戦いには
縁のない
平和な佇まいを
見せていた

だが一方で
その三楽斎の
手を焼かせ続ける
者もいた
ならん!!

そのような
出費…!
断じて
許さん!!

そうは
申されましても
これは
麗羅様の
たっての
ご要望で
ございますぞ
ええい
くどいぞ!
だれで
あろうと
同じじゃ!!

これを見よ！
この苦しい予算の
中のどこに
新宮殿の
建築費が
あるというのか!!
寝言を
言うのも
たいがいにせいっ！
真赤!!
先日は
小さな月付きの
きれいな星が
欲しいとか
つい十日前には
星があるなら
大遊覧船も
欲しいと…！
竜王様の
ご寵愛深き
とはいえ
いささか
我がままじゃ！
奥方様を見習うと
よい！
これは
心外な…
今や麗羅様は
正式に第二夫人で
ございます
さよう
格式に
おいても
正妻
紫紋様と
対等！
だー
まーれ!!
まだ
男子とは
わからん
よって世継ぎだ
ご母堂だなど
まだ早いわ！
そうそう
しかも
お世継ぎの
ご母堂と
なれば…
尚書令様
お言葉
使いを
考え直され
ては…
竜王様の
ご書簡を
お忘れで
ございますか？
それには
このように…
「何か必要な
モノがあれば
三楽斎に
相談しろ」と…
んなこと
わかっとる！

君命でございますぞ！尚書令様…
やかましいっ!!
よいか！将は軍にありては君命も受けざるところありという！
ここは斉王都という戦場！そしてその将はこのわし！
わしには五丈の国家財政を健全に保つという任務がある！
一度将に権限を委譲したからには君主といえども口出し無用！
わかったか!!
そ…そのように嬴夫人にはお伝えしましょう
知りませんぞどうなっても…!!
ささまら～～～！奥付きの宦官の分際でこのわしを脅す気か!!
いえいえとんでもない

ワイワイ
ガヤガヤ
竜王様も
あれで意外に
女に甘うござって
なあ…
なんでも
願いを聞いてやれと
申されるのじゃ…
お気持ちはわかるが…
天涯孤独の
身であったそうだし
家族が増えるのを
殊のほか喜んで
おられる…
それは
わかるんじゃが…
示しがのう…
それどころか
商人どもも
せっせと
贈り物攻め…
金銀珠宝
余りの多さに
捨てても
いるとか…
いやはや
質素堅実な
紫紋様とは
えらい違いだ
それもこれも
帝位の重さの
なせる業じゃ
しかし無礼な
連中ですね
〝虎の威を
借る〟とは
このことですなー
…ったく
麗羅機の許には
ああいう輩や
旧五丈の下級役人
どもが集まって
いるとか…
どいつもこいつも
二世皇帝の
おこぼれに
あずかろうと
している
連中ばかりだ!

ん？
何者だ！
これより先は内宮である！何人たりとも許可なくしてはこの門をくぐることはまかりならん!!
んっ!!
お…っ！

おぉ!!
なんやてーっ!!
三楽斎がそうほざいたゆうんか!?
それでおまえらおめおめと帰ってきたっちゅうんかい!?
ははー まことに力及ばず申し訳ございません…
我々も何度も強く進言したのでございますが
尚書令様におかれては聞く耳もたずの一点張りで…

雷の
雷鳴は
見せたんかい！
そ…それが…
君主の命と
いえども
受けぬ時も
あると…
のう？
はっ
左様で…
なにーっ!!
そら
反逆や!!
家臣が
君主の命に
逆らうんかい!!
たかだか
尚書令の分際で
近々帝位に就くっちゅう
身分の主人と
その跡取りの母親の
両方の命令を
はねつけるんか!!
なんちゅう
図々しさや!!
なんや
言うてみい！
三条蛋が
なんぞ
いちゃもん
つけたんかい！
いえ
まだ男子と
決まった
わけでもない…
よって
ご母堂を
名乗るのは
時期尚早と…
あ
そのお世継ぎの
ことでも…
あっ
これ！

男に
決まっとるわい!!
ええか
うちが
産む雷の子は
み――んな
男や!!
跡継ぎや!!
わかったかーっ!!
はは――っ!
恐れいりました!!
れ…麗羅様
お気を
お静めになって
くださいませ
そうですとも
お腹の
お子に
悪うございます
よ
輿や!
輿を
持ってき!
うちが
直接
三楽斎に
会う!

あっ
麗羅
あー
これこれ
道を
お開けくだされ
魔夫人の
お輿で
ございますぞ
なんですって!!
!

無礼な！
正妻であらせられる
紫紋様に道を
譲れと申されるか！
あ
いいのよ
梨雁
しかし
奥方様…
雁羅は
大事な身体だし
先を急ぐの
でしょ
だから…
……
止めい！
紫紋
久しぶりやな
元気かいな
雁羅こそ
顔色もよくて…
けど
無理しちゃ
だめよ
大事な身体
なんだから

わかっとる
わかっとる
ポン!!
これは
うちと雷の
愛の結晶やからな
…!
まっ
奥方様の
ご助言…
ありがたく
胸に留めおき
ますわ
よっしゃあ
行けいっ!
ちょっと
あれ何〜〜〜!?
少しばかり早く
赤ちゃんができた
からってさー
雷々
もういいから…

ええんや
これで…
勝負や
ゆうたんは
紫紋の方やで！
それで
うちは
勝ったんや！
それだけの
ことや！
これかて
戦国の世の
女の生き方や…！
うちみたいな
二番手モンが
好いた男と
一生添い遂げる
ためには
子を宿すのが
一番なんや…！
麗羅様が
南京楼に
落ち延びて
こられた時を
覚えてらっしゃい
ます～～～～？
「友達は
紫紋だけや～～～」
なんて
目に涙まで
浮かべてたん
ですよ
それが今や
あの態度！
いいの
今は
好きに
させて
あげなさい
けど～～～

きゃあ!!
な…なに?
あ―
びっくりした…!
なんだと
宮門が
破られた!?
賊は何人だ
百か
それとも二百かっ!?
そ…それが
たった一人で…
一人だと…!?
一体
何者か…
う…っ!!

げ…
玄偉…!!
これはこれは…
大勢でお出迎え
恐縮でござる
は…白昼
堂々と
宮門より
侵入してくるとは…

それがし
留守を預かる
三楽斎！
反逆者
玄偉！
何をしに参った！
他でもない
麗福様
ご懐妊の報せを
受け
お祝いを
述べに参った…
お取り次ぎ
願おうか…
三楽斎とやら
ならぬわ！
きさまの
様な
妖しげな奴
ひっ捕らえて
くれる!!
それ
かかれーっ!!
三楽斎様!?

うぎゃあああ…!!
ぐはっ!!
あが…!
お役目ご苦労…
げ…玄蕃…!

梨扇…
首尾はどうじゃ？
ぎょ…玉璽でございますね…
それは万事ぬかりなく…
……
何？言ってごらん…
お…お渡しする前に一つお聞きしたいことが…
それは上々…では渡してもらおう
そ…その前に…！
か…華玉様!!
お…お久しゅうございます
あいさつはよい

玄偉様は
この伝国の玉璽を
持つにふさわしい
お方でしょうか…!!
何かと
思えば
つまらん
戯れ言を…
天下の
大事におまえ如き
小人が口出す
ことではない!!
さあ
玉璽を
よこしなさい!
伝国の玉璽は
天命が帰す者の
許にあるべきです!
わたしは…
わたしはこの
玉璽を玄偉様に
渡したくございません!
竜王こと
竜我雷が
ふさわしいと…!!

うっ…!!
情に絆されたわけね…
どうりで竜我暗殺もいろいろ理由付けて実行せぬわけだわ この裏切者…!
自分の始末は自分でつけなさい!
華玉様…!
本当はわかってらっしゃるんでしょ!
わたし達は仕える方を間違ったんじゃないのですか!
お答えください!!
華玉様!!

ヒゥ
わわっ
な…
なんや!!
くらあっ!
きゃあっ!!
どしゃあん!!
うわーっ!!
でたーっ!!
あた……
な…なんやねん…!
いきなり
放り出しおって…
全員
打ち首や!!
お——
よちよち
大丈夫か〜〜〜
おまえに
もしものことが
あったら
えらいことや
麗羅様
ご機嫌
うるわしゅう
ございます
……!!
だ…だれや!!

お忘れで
ございますか…？
お父君の
腹心の部下の顔を
げ…
玄偉…！
おんどれ
まだ生き
とったんかい…!!
な…
何の用や!!
それ以上
近づいたら
許さへんで!!
だ…だれか
おらんのかい！
衛兵は
何しとんのや!!
賊やで!!
はよ
来い!!
悲しゅう
ございますな
かつての主君の
ご令嬢から
賊扱いを
受けるとは…

ご安心を
それがし用が
あるのは
あなた様では
ござらぬ
え…?
その腹の中…
!!
二世皇帝と
なろう子に
用がある!!
玄偉様
玉璽で
ございます!
玄偉…
な…
何を
なさって
いるのです!?
いややーっ!!
掌玉か…
邪魔だてするな…!
はなせ!
アホー!!

なに
この腹の子と
わしを入れ替える
だけだ…！
労せず
天下が
転がりこむ…！
んぐ…!!
げ…
玄偉様…
もう
わしには
時間がない
のだ！
手段を
問わぬわ!!
玄偉様！
おやめください!!
それだけは…!!

え…
わ…っ!!
わわわっ!!
麗羅から離れなさい化けもの!!
お姉様!!
蘭々!

ほほう
だれかと
思えば…
あの若僧の
身方か…
紫紋とか
申されたな…
ふふ
相変わらず
美しい…
しかも
気の強い
お方だ!
自分の腹の子
でもないのに
そうやって
命を張って
守るか…?
おろかな…!
おだまりなさい!
たとえ
だれが産もうと
竜牧雪の子!
天下人の子!!
その子には
指一本触れさせ
ません!!

HOH
WAH
し…
ﾊｧﾊｧ”

紫紋
しっかり
せいっ!!
紫紋様!!
ん!!
もう
おやめください
玄偉様!
な…
何を
する
離さんか!!
このような
こと
天が
お許しに
なりません!
どうか…!
どうか
もう
おあきらめに
なってください!!
どうか…!!
ええい
役立たずが
大きな口を
叩くな!!
きさまの
弱い心なんぞ
このわしが
飲みこんで
くれるわ!!

このーっ!!
お姉様を離せ!
見苦しいぞ玄偉!
ぬ…おぬしは…!!
李張!!
ほーう まだこのわしを覚えておるか
ワナワナ
こ…このおいぼれ何しに来た!!
引導を渡しにじゃよ!

ゴオオオオ
きゃあ!
うわーっ!
李張先生…
先生!
玄偉は!!
逃げたよ
穴だらけの身体を引きずってな

げ…
玄偉様!!
お姉様!!
何であんなやつについて行くの!!
だまされてるのよお姉様は!
ここに残って!!
蘭々…
あーっ!
お姉様のバカーっ!!
ごめんなさい!
あ…
麗羅…
気付いたか紫紋ーっ!!
紫紋~~~!
よかった麗羅無事だったのね…
はあ
はあ

ぬかったわ…
あそこで李張と会おうとは…
玄偉!!
逃がしはせんぞ!!
秦宮括!!
なぜおまえまでここに…!!
父を惑わした罪…!!
その首で償ってもらう!!

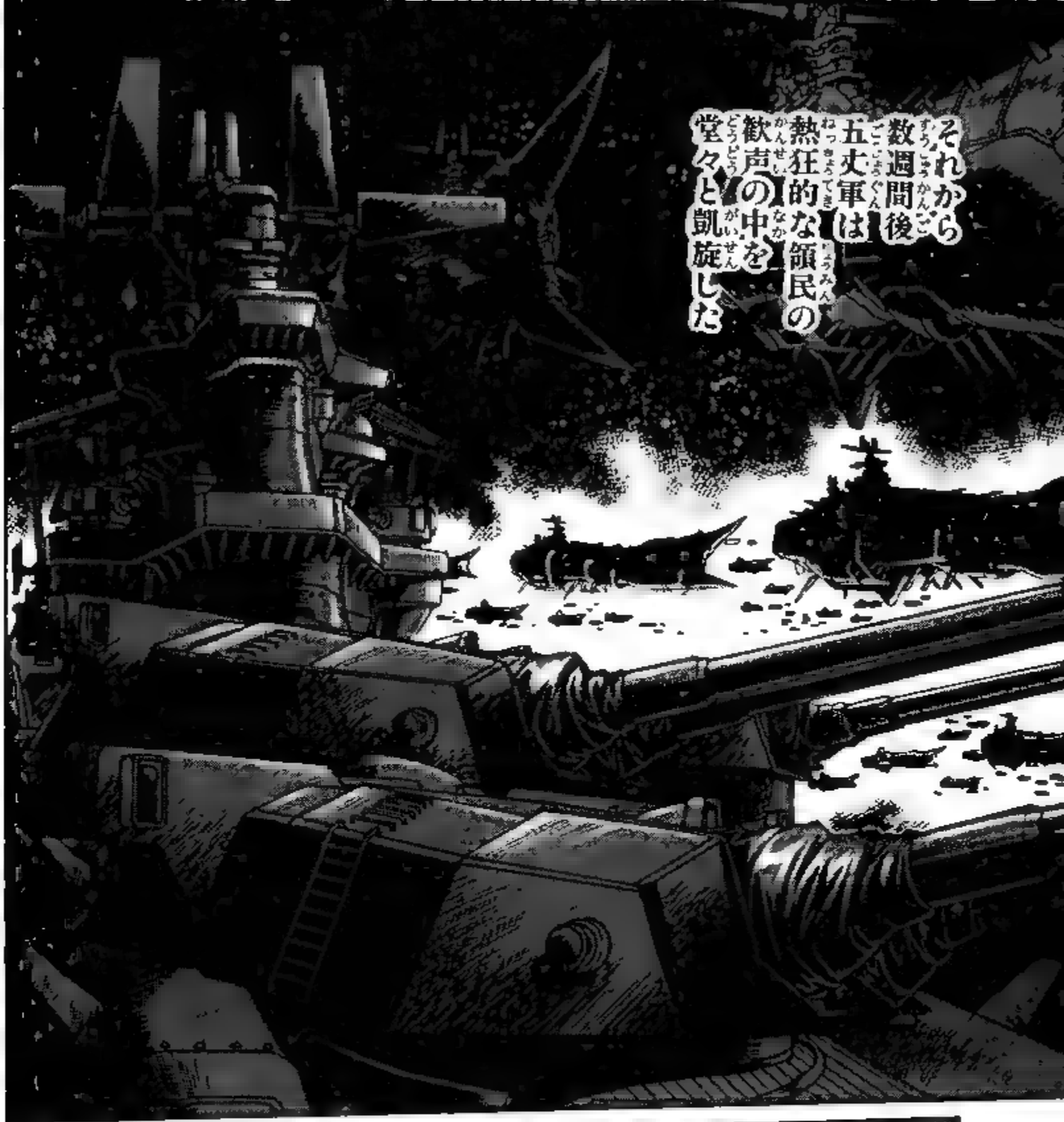
そうか…
幸張といい
東宮括といい…
あやつの
推し含か…

取った！
父の仇
玄偉の首を
取ったぞ!!
玄偉様!!
玄偉様!!
玄偉様〜〜っ!!
見事
討ち取られた
ようじゃの
楽宮括殿
おおっ
老師殿
これ
この通り!!
おおお〜〜〜!
この場に
お呼びくださった
竜王には
礼の言いようが
ござらん!
李張様
玄偉とは
一体…

まあ
平たくいえば
魑魅魍魎の
類じゃな
まあ！
な…なんや
こいつほんまに
お化けや
幽霊の仲間かいな！
宇宙は
広い
わしらの知る
世界だけが
全てではない
この身体は
名も知らぬ
下級官僚
のものじゃ
いつかは
知らぬが
心を奪われ
玄偉と名乗り
時の権力者に
付きまとった
戦乱の世も
長い
死んでいった者…
未練を残した者…
恨みを残した者
そやつらの心の
多くは宇宙の
片隅で
うごめいておる…
余りにも
多くの血が
流れたからのう…
そういえば
雷も
"銀河を
航海している時
とてつもなく
暗く寒い所を
通ると
思わず鳥肌が
立つ」って…
じゃあ
死んだわけと
ちゃうんか
こいつ…！

戦乱の世が
長びけば
また現れよう
そうならない
ためにも
竜王に早く
天下を束ねて
もらわなくては！
そやな！
ほんまに
そやな!!
奥方様〜〜〜っ!!
麗羅様〜〜〜っ!!
ケホッ
三楽斎殿
アホ！
遅いわ
ほんまに!!
いやあ
ご無事で
なによりです〜〜〜
ご心配いたし
ました〜〜〜
ああ…
それと
今吉報が
参りました!!
五丈軍が
六紋海で
南天軍に
完勝しましたぞ!!

紫紋様
お姉様は…
お姉様は
どうなるんですか
とりあえず
牢に入れて
おきます
ホン
処分は
竜王様の
お裁きしだいと
いうことで…
大丈夫よ
蘭々…
雷には
あたしからも
よく
言っとくから…
李張先生…
申しわけ
ございません…
バカモン！
……


それから
数週間後
五丈軍は
熱狂的な領民の
歓声の中を
堂々と凱旋した

宿敵
正宗を討ち取り
強大な南天軍を
完膚なきまでに
討ち退けたのである
国家存亡の
危機が転じて
まさしく
天下統一へ
大きく前進したのだった

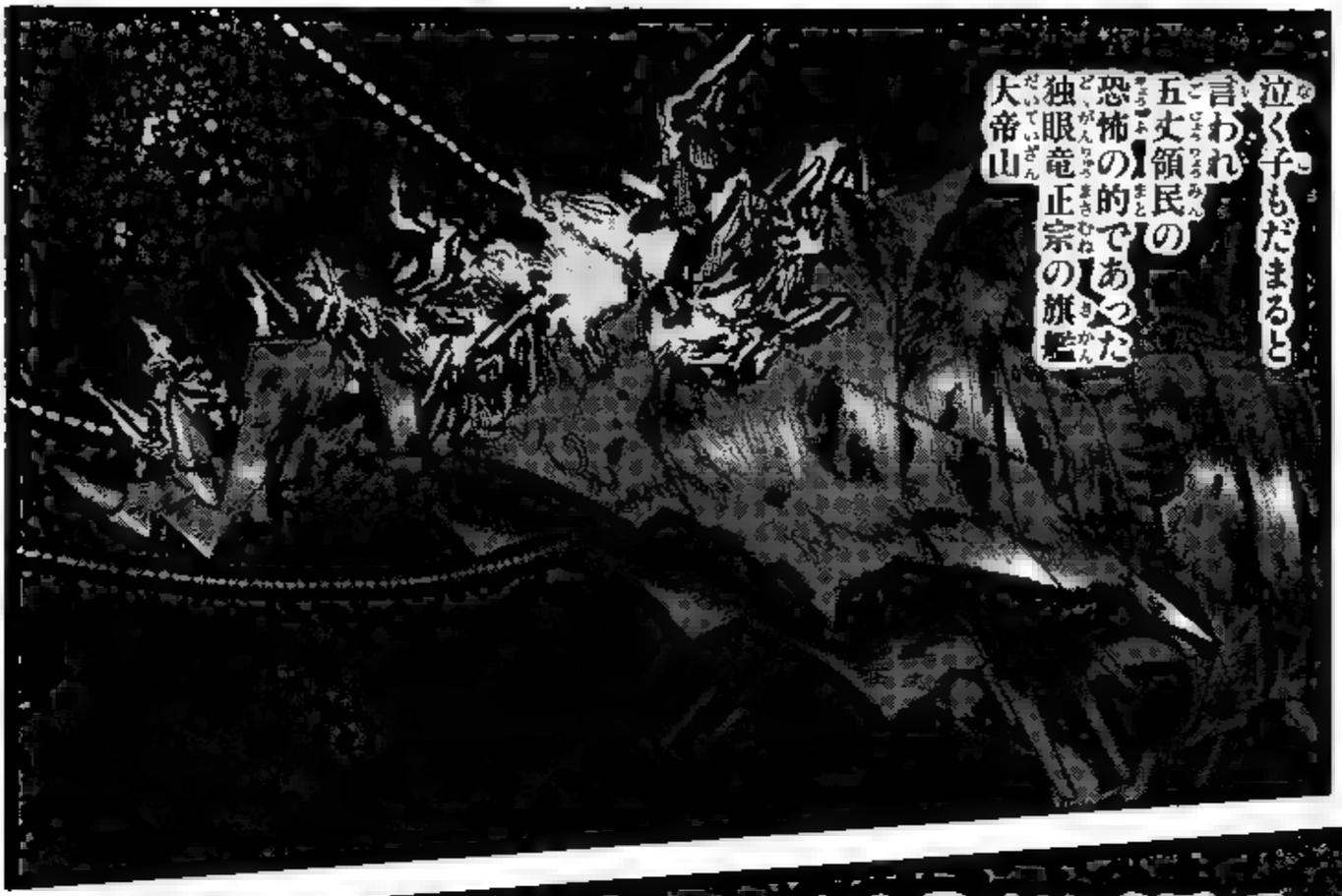
兵士は
自分のあげた
首級を
高く槍先に
掲げ
都中を練り
歩き
領民も
それを歓呼の
声で応えた
宮中では
大宴会が
連日催され
将兵を慰労した

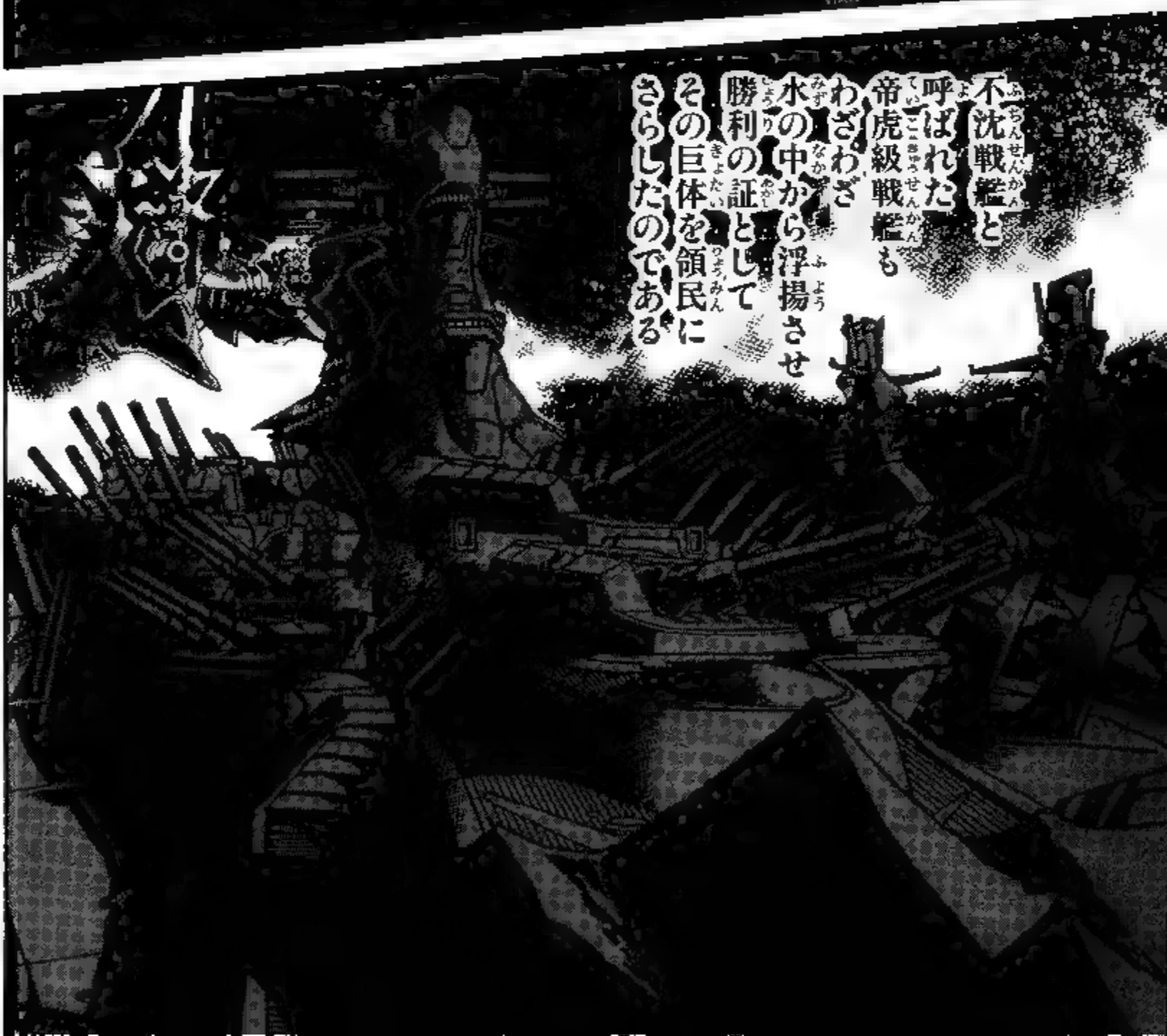
だがこの勝利に沸き立つ祝賀行事も師真らによる巧妙な演出があったことは見逃せない
彼らは来るべき南天侵攻にこの戦勝ムードを最大限活用しようとしたのである

まずはこういう大きな戦いの後に必ず起きる虚脱感・厭戦気分の一掃である
それには着実に天下統一へ進んでる五丈の姿を領民に示すのが上策であった

師真は大勢の領民を大祝賀会パレードに招待した
これは五丈でもあまり例のないことだった

領民は
威風堂々たる
大軍団を目にし
これが天下人の
軍団だと
称え
帝虎を
撃破したという
大砲に
感嘆の声を
あげた
とはいえ
本当はけっこう
動かない艦も
あってさ…
同じ艦を
何度も走らすって
手も使ってんだ
とりわけ
領民の
注目を
浴びたのは
捕獲艦の
隊列である


泣く子もだまると
言われ
五丈領民の
恐怖の的であった
独眼竜正宗の旗艦
大帝山


不沈戦艦と
呼ばれた
帝虎級戦艦も
わざわざ
水の中から浮揚させ
勝利の証として
その巨体を領民に
さらしたのである

こうして領民にも兵士にも
天下統一は間近いと…
自分達は偉大な瞬間に立ち会うのだという感情を起こさせるのに成功したのだ
軍紀は自然に引き締まり領民の意識も高まった
こうした中 雷は身重の麗姫を見舞った
もうちょいやて！ せやからかなーようれるんや！
そうかじゃあ絶対に男だな！
そや！
なんせ玄偉の保証付きやで 二世皇帝やって！

なあ 雷
なんだ？
キス して〜〜〜ん♥
あたし 見てませんから
怒ってないのか
なにを？
いやその先に鳳雛の方にできちゃったこと
あらそんなのあたし気にしてないわ
今晩から雪辱戦ですもの！
ね♡
ははは お手柔かに…

なに？
も…
もう一度
言ってくれ
羅候の？
もう！
五丈の竜王は
耳が遠いの!!
何度
言ったら
わかるのさ!!
あたしは
南天王羅候の
妻・邑峻よ!!
いいから
お風呂
用意して!!
がまん
できないのよ!!
ま…
間違いない
ようだな…
ああ
こりゃとんだ
拾いモンだ
どーしよう？
どーしようって…
取り敢えず
紫紋様に
お預けしては
いかが？

…てわけですまんがよろしく頼む
わかりましたおまかせください
あたしはねーハチ蜜入りのお風呂じゃなきゃやなの〃
……
ハイハイ
さて次はおまえだな
神楽

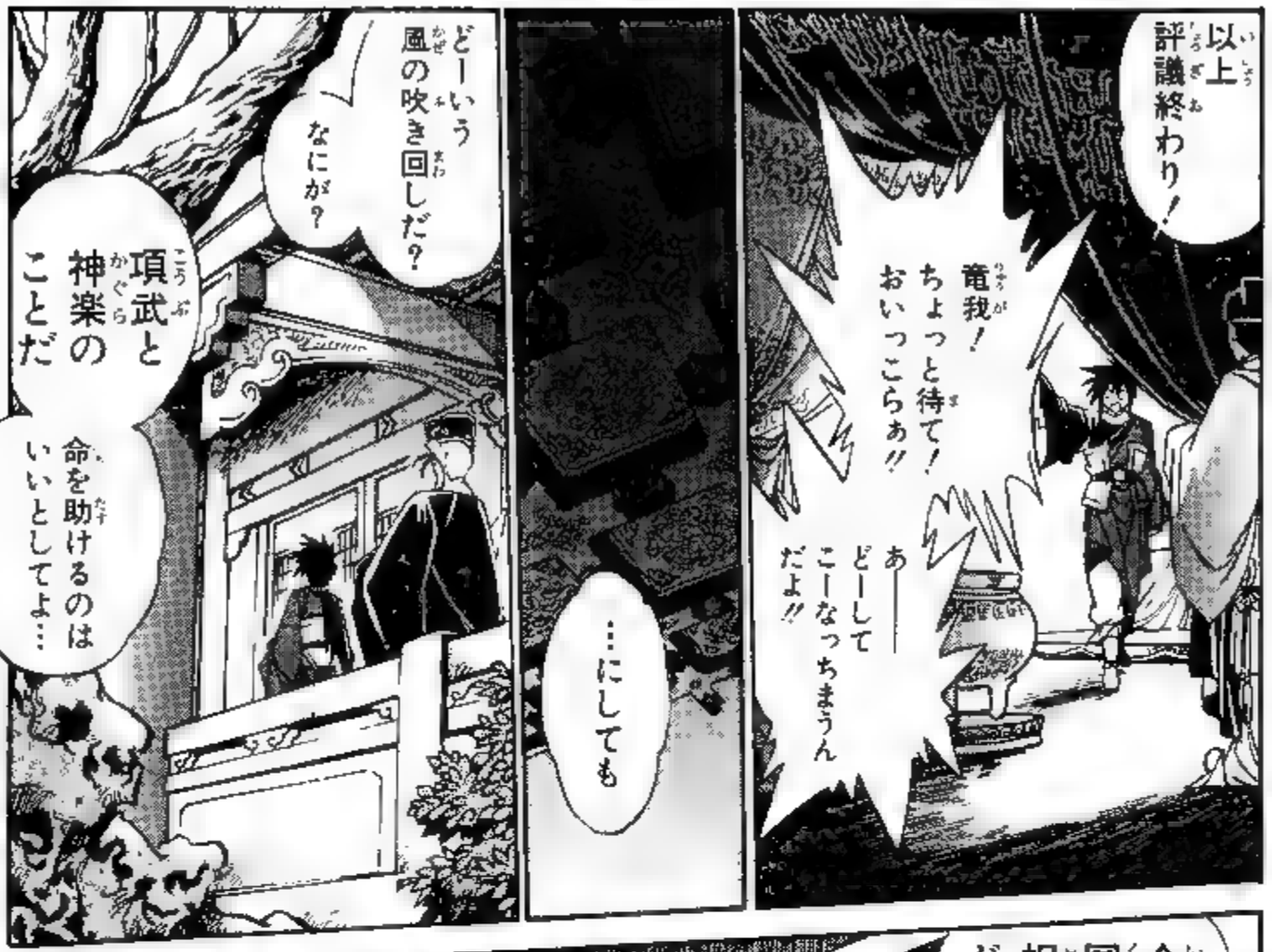
余計な詮議は無用！
殺せ!!

そう死に急ぐこともないだろうが
うるさい！武人たるもの虜囚の恥辱は受けぬ!!
早く殺せ!!
そんなに死にたいか？

先の戦では
敵・味方
多くの者が
死んだ
だがみんな
死ぬために
戦ったんじゃ
ない
生き抜くために
弾正公は
昔 俺に
こう申された
「死んでどうなる
生きていてこそ
人間の価値がある」
とな
俺とおまえは
勝者と敗者
ではなく共に
生き抜いた者だ！
……
恥のために
死ぬな！
生き抜いた
ことを
喜べ!!
……
ま…待って
くだせい！
陛下!!
な…なら
こいつの戦車隊に
踏み潰された
俺の部下の
恨み・つらみは
どうなるんだよ!!

俺はこいつの首をはねるために陛下の前に引っ立てたんだ!
それをはい許そうじゃ俺の立つ瀬がねえよ!!
許せんか?
無論!!
神楽を捕えたのはおまえだろ
ならなんでその場で首をはねなかった?
そ…そりゃこのヤローが気失ってたんで…
おまえなんかに同情される覚えはない!
なにいっ!
やはり殺せ!でないと次こそ必ず白象戦車隊でおまえ達を轢き殺すぞ!!
しょうがねえなあ…
項武!
へいっ!待ってやした!!

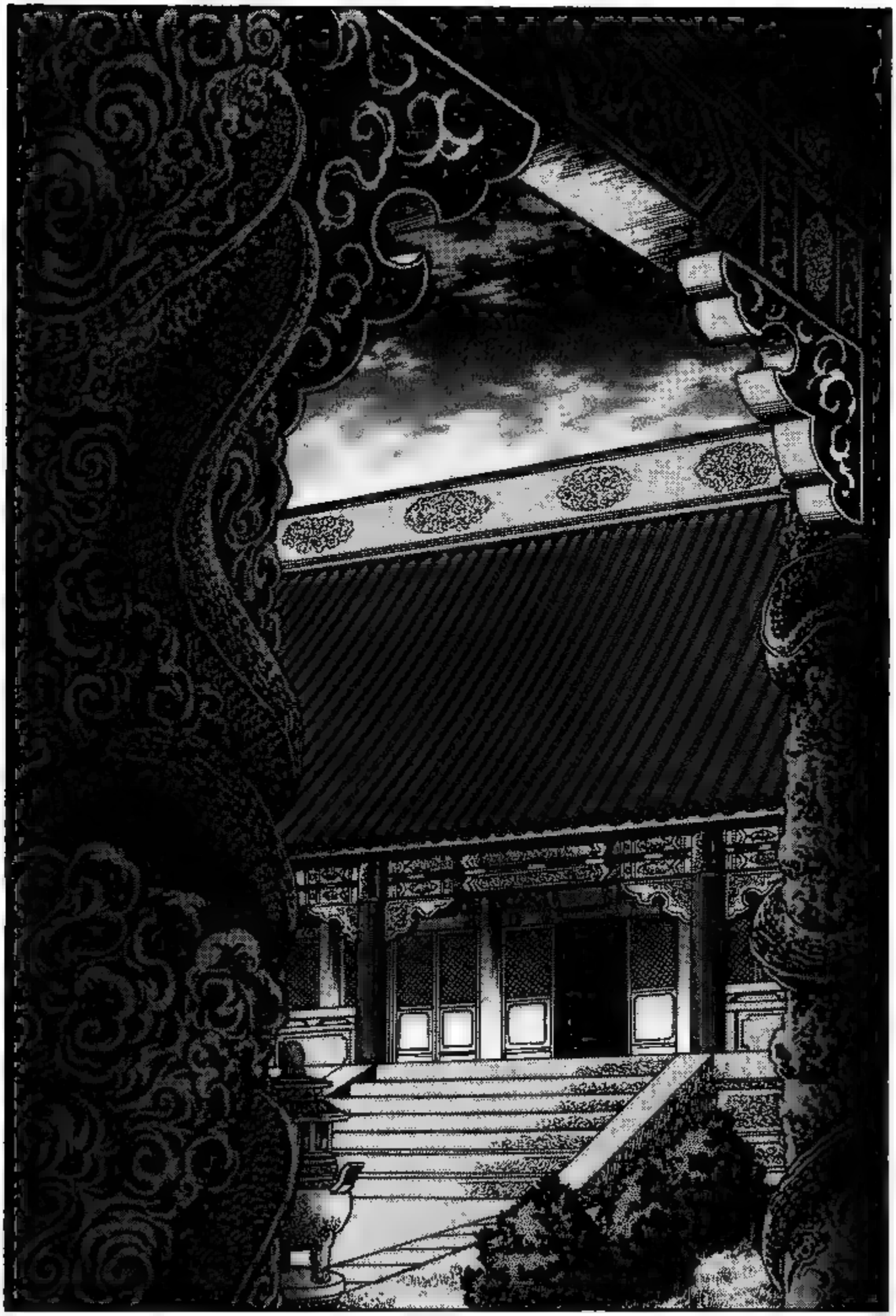
神楽を
嫁にしろ！
いっ……〃
なら
安心だ
な
丞相
じょ……
じょ……
冗談じゃねえ！
よりによって
なんで
こんな女と〃
竜我！
この人でなし
殺してやる!!
なんだと
てめえ
うちの大将に
指一本触れて
みやがれ
ただじゃ
おかねえぞ〃
うるさいっ
じゃあ
だれに文句
言えってのよ〃
ドキ!!

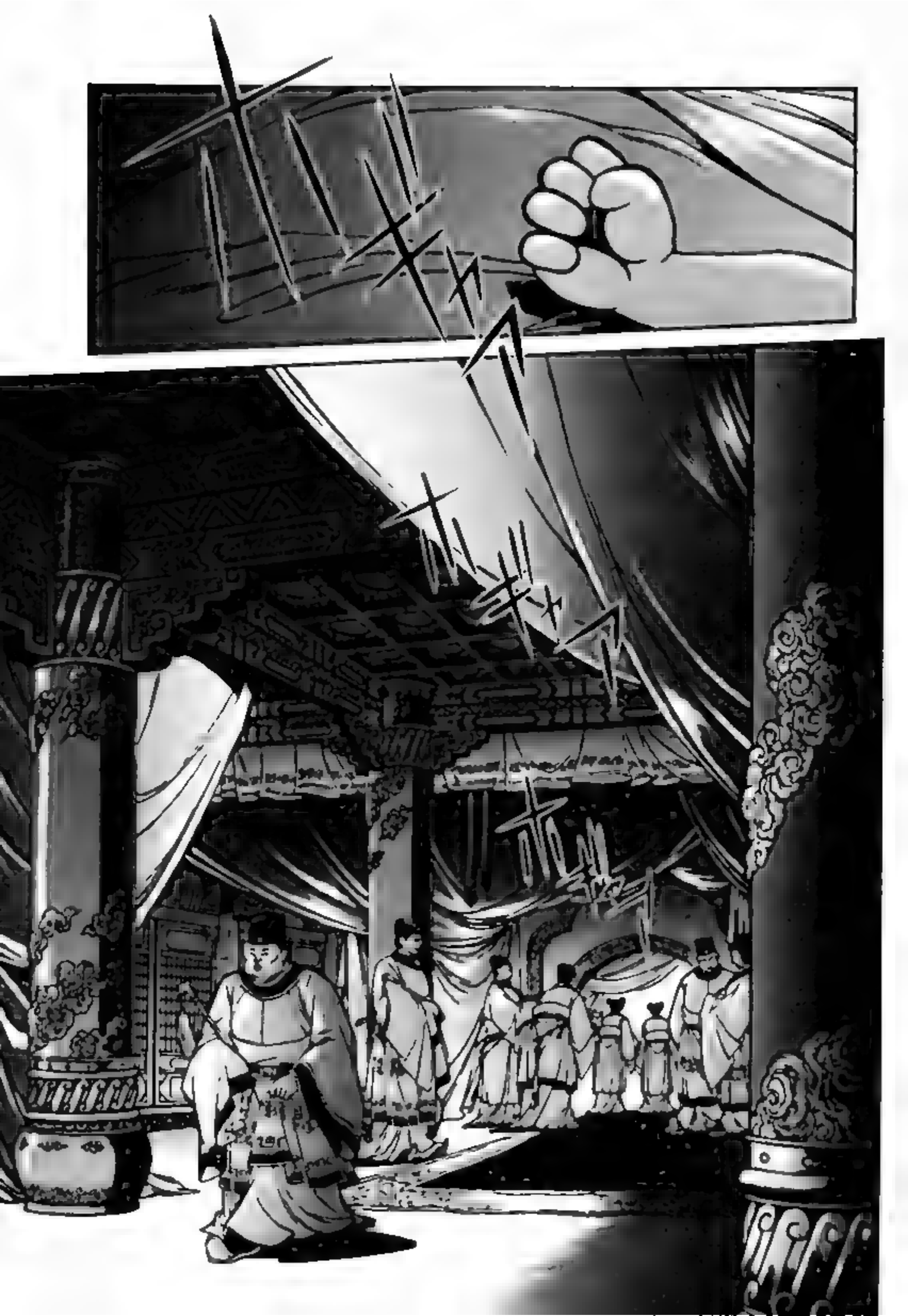

以上評議終わり！
竜我！ ちょっと待て！ おいっこらぁ!!
あ——どーしてこーなっちまうんだよ!!
…にしても
どーいう風の吹き回しだ？
なにが？
項武と神楽のことだ
命を助けるのはいいとしてよ…

今は国あげて祝賀陽気じゃないか
そんな時に敵とはいえ首をはねる気はねえんだよ

それに…
しばらくは血を見たくない

おまえでも
そう思う時が
あるんだな
ええ？
師真！
うっ！まずいこと
言ったかな
おまえは
死ぬなよ…！
俺は
皆で夢を
追いたいんだ
雷…



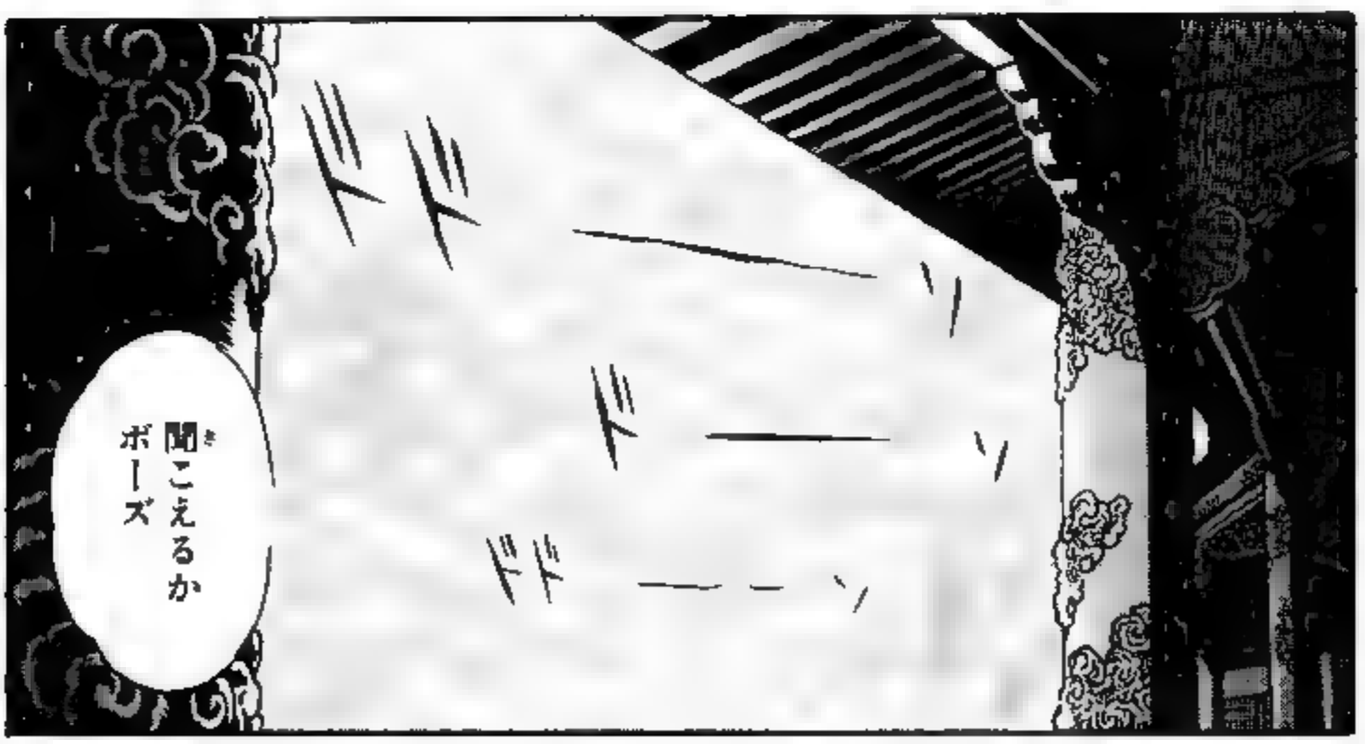


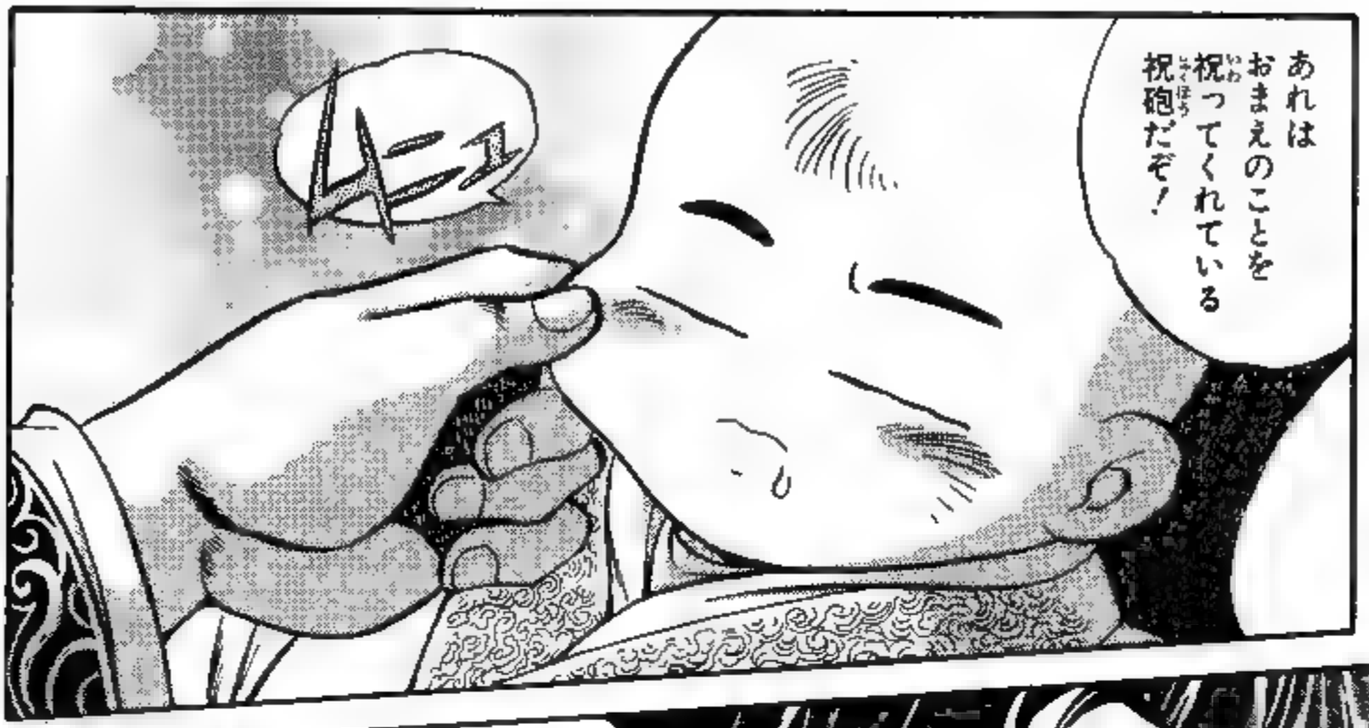
お父様が
当主さんに
なりましたぞーっ！

まことか!?
それはそれは元気な男子でございますぞ!!
これで五丈も安泰じゃ!!
聞いたかみんな!
竜王様にお子ができたそうな!
盛大に祝おうじゃ…
もうやってまーす!!
……
竜王様万歳!
万歳!
万歳!
万々歳ーっ!!

先の戦勝気分も
醒めやらぬうちの
跡継ぎ誕生の報せに
五丈国民は
沸きかえった
兵士も
平民も街に
繰り出し
灯籠や
提灯を
飾り付け
城門には
酒や羊を献じようと
する人々が
列をなした

乾杯！
竜王様とそのお子の健康を願って！
そして五丈のさらなる繁栄を願って！
いやいや銀河統一じゃ!!


聞こえるか
ボーズ


あれは
おまえのことを
祝ってくれている
祝砲だぞ！

…にしても
ふてぶてしい
顔だな
おまえ
大物に
なるぜ！

ねえ
あたしも
抱いていい？
ええ～～～～
せやけど…
お・ね・が・い
ん～～～～
麗羅！
うん！
そやな
無紋は
もう一人の
ママやもんな！
ほら
ええで!!
ありがとう
麗羅♡

わー
けっこう
重いんだ
よいしょっと!
でも
お顔も
お手々も
プニプニしてて
かわいい〜♡
……
ちょ…っと
重!
!
んもうっ!
ごまかすんが
うまいん
やから…♥

感謝するぜ 麗羅
大変だったろ？
うん 死ぬかと思って 雷の名前 ずっと呼んどった
それに 紫紋が横で 応援して くれて…
がんばったもんね 麗羅
それに この子の 顔見とったら そんな苦労も ふっとんだんや
はい
せやけど ボーズは いやや はよ ええ名前 考えてや
おっ そうだな
いや いろいろ 考えたんだけどなあ ほれ
なかなか いいのがな～
かっちょ ええんが ええわー♥

はい
コト…
おっ
すまんな
どう
父親になった
気分は？
それより
どうだ
身体の方は？
なんか
変わりないか？
ごめんなさい
まだ…
いや
なんとも
言えんが…
まっ
悪いもんじゃ
ねえな
なんか心配ごと
増えるけどよ

そうか…
ああ悪い！
せかしてる
つもりは
ないんだぜ
気にしないでくれ
ただ
早いとこ
自分の子
抱いてる
おまえを
見たいと
思ってよ
うん！
がんばります！
なーに
次の戦まで
準備に半年は
かかるって
算段だ
まだ
時間は
たっぷり
あるさ！
半年？
また
戦なの？
ああ
今度は俺達が
南天に攻め込む！
弾正公の
果たせなかった
南征だ！

手負いの虎が
回復しないうちにな！

銀河という舞台より
智という第一助演者は去った…!
皆 面を
上げよ
立つがよい!
主役の座を争う
五丈・南天両王国
ついに雷は南征を決意!
姜子昌…
ふん!
自分の運命を
自分で決められない
連中だ
俺が
決めても

銀河の興亡という
歴史の歯車は
楔をはずされたかの様に
一気に速度を増して
回転していく！

それは多くの人々の
想いを
そして運命を
激しく翻弄する！

五丈による
南征が始まる前に
何としてでも
竜王様に拝謁し
話を聞いていただかねば…

ふふっ

何もせず
何も考えず
何も決めなかった
王と

その王のために
死んでいった者の
こともな

ついに最終章「銀河統一編」に突入!!

銀河戦国群雄伝ライ
第十九巻

今、銀河が震える…

Dengeki Comics EX

銀河戦国群雄伝ライ⑱

1998年8月25日　初版発行

著者　真鍋譲治

発行者　佐藤辰男

発行所　株式会社メディアワークス　〒101-8305 東京都千代田区神田駿河台1-8 東京YWCA会館 電話03-5281-5214(編集)

発売元　株式会社主婦の友社　〒101-8911 東京都千代田区神田駿河台2-9 電話03-5280-7550(営業)

装丁　朝倉哲也+design CREST

印刷・製本　共同印刷株式会社

©JOJI MANABE 1998

R本書の全部または一部を無断で複写(コピー)することは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。本書からの複写を希望される場合は、日本複写権センター(03-3401-2382)にご連絡ください。

Printed in Japan

落丁・乱丁本はお取り替えいたします。

初出／月刊電撃コミックガオ！'97年12月号～'98年4月号(メディアワークス刊)

ISBN4-07-309520-X C0979